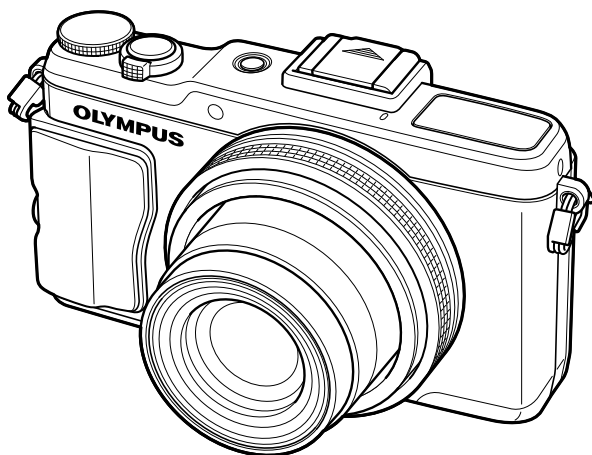


OLYMPUS®

デジタルカメラ

XZ-2

取扱説明書



- オリンパスデジタルカメラのお買い上げ、ありがとうございます。カメラを操作しながらこの説明書をお読みいただき、安全に正しくお使いください。特に「安全にお使いいただくために」は、製品をご使用になる前によくお読みください。またお読みになった後も、必ず保管してください。
- ご使用前にこの取扱説明書をよくお読みになり、海外旅行などの大切な撮影の前には試し撮りをしてカメラが正常に機能することをお確かめください。
- 取扱説明書で使用している画面やカメラのイラストは、実際の製品とは異なる場合があります。
- この取扱説明書は、カメラのファームウェア Ver1.0 に基づいて記載されています。カメラのファームウェアにより機能の追加・変更があった場合、記載内容が異なります。最新情報は当社ホームページをご確認ください。

やりたいこと別かんたん検索 5

カメラの準備と操作の流れ 7

- 各部の名称 7
- 同梱品を確認する 9
- 電池とカードを入れる／取り出す .. 10
- 電池を充電する 11
- 電源を入れ、初期設定をする 12
- 撮影する 13
 - 撮影モードを選ぶ 13
 - 静止画を撮る 13
 - ズームを使う 15
 - ムービーを撮る 15
- 撮った画像／ムービーを見る 16
 - インデックス再生 16
 - クローズアップ再生 16
 - ムービーを見る 17
 - 音量の調節 17
 - 画像の選択 17
 - 画像の消去 17

基本操作 18

- 撮影の基本操作 18
 - 撮影時 18
 - 情報表示を切り換える 19
 - フォーカスロックを使う 19
- 撮影モードを使う 20
 - カメラまかせで撮影する
(Pプログラム撮影) 20
 - 絞りを決めて撮影する
(A 絞り優先撮影) 21
 - シャッター速度を決めて撮影する
(S シャッター優先撮影) 22
 - 絞りとシャッター速度を自分で決める
(M マニュアル撮影) 23
 - アートフィルターを使う 24
 - シーンモードを使う 25
- 撮影機能を使う 27
 - ライブガイドを使う 27
 - 画像の明るさを変えて撮影する
(露出補正) 28
 - ハイライト部／シャドウ部の明るさを変えて撮影する 28
 - フラッシュを使って撮影する
(フラッシュ撮影) 29
 - ピントの位置を自分で決める
(AFターゲット選択) 31
 - 連写する／セルフタイマーを使う .. 32
- 再生の基本操作 33
 - 再生時の画面表示 33
 - 情報表示を切り換える 33
 - 再生時の操作 34
 - 再生機能を使う 35
- タッチパネルを使う 38
 - ライブガイドで使う 38
 - 撮影モードで使う 38
 - 再生モードで使う 38
 - 機能設定で使う 39

- ライブコントロールを使う.....40
 - 手ぶれを抑えて撮影する
(手ぶれ補正)41
 - 画像の仕上がりを設定する
(ピクチャーモード).....42
 - 画像の色合いを調整する
(ホワイトバランス).....43
 - アスペクト比を設定する.....44
 - 画質を選択する(画質モード).....45
 - 明るさを測る方法を選ぶ(測光).....47
 - ピントの合わせ方を設定する
(AF方式).....48
 - 感度を変更する(ISO感度).....49
 - 顔優先AF / 瞳検出AFを使う.....49
- メニューを使う51
 - 撮影メニュー1 / 撮影メニュー2..52
 - データを完全に消去する
(カードセットアップ/
メモリセットアップ).....52
 - 内蔵メモリからカードへ画像をコピー
する(データコピー).....52
 - カメラを初期値にセットする
(リセット/カスタムモード登録)
.....53
 - 画像の仕上がりを設定する
(ピクチャーモード).....54
 - 画質を選択する(画質モード).....55
 - 条件を少しずつ変化させて撮影する
(ブラケット撮影).....56
 - ワイヤレスRCフラッシュ撮影.....57
 - コンバージョンレンズを使って撮る
.....58
 - 再生メニュー59
 - 画像を回転して再生する
(回転再生).....59
 - 画像編集.....59
 - 全プロテクト解除.....60
 - スマートフォン接続機能を使う
(スマートフォン接続).....61

- セットアップメニュー.....62
 - 日時設定.....62
 - ワールドタイム.....62
 - 🗨️ (言語切り換え).....62
 - モニタ調整.....62
 - 撮影確認.....62
 - 再生ボタン起動.....62
 - バージョン.....62
- カスタムメニューを使う63
 - カスタムメニュー64
 - 📷 AF/MF.....64
 - 📷 ボタン/ダイヤル/レバー.....64
 - 📷 接続/音.....65
 - 📷 表示.....65
 - 📷 露出/測光/ISO.....66
 - 📷 フラッシュ.....66
 - 📷 画質/色/WB.....66
 - 📷 記録.....67
 - 📷 動画.....68
 - 📷 その他.....69
- カメラの画像をテレビで見る.....71
 - テレビのリモコンを使う.....72
- 操作パネルの表示を選ぶ
(📷 Control表示).....72
- スーパーコンパネを使う.....73
- 情報表示の画面を追加する
(📷 Info表示設定).....74

撮影した画像をプリントする 75

- プリント予約(DPOF) 75
 - プリント予約する 75
 - プリント予約を選択して解除する/
すべて解除する 76
- ダイレクトプリント(PictBridge).. 76
 - かんたんプリントでプリントする .. 77
 - カスタムプリントでプリントする .. 77

パソコンに接続する 79

- ソフトウェアのインストール..... 79
- OLYMPUS Viewer 2を使用せずに
パソコンに画像を取り込んで保存する
..... 81

使い方のヒント 82

- 故障かな?と思ったら 82
- エラーメッセージ 83
- 撮影のヒント..... 85
- 再生・編集のヒント 86

資料 87

- アフターサービス 87
- カメラのお手入れと保管 87
 - カメラのお手入れ 87
 - カメラの保管..... 88
 - 画像処理機能をチェックする —
ピクセルマッピング 88
 - 別売のUSB-ACアダプタを使う 88
 - 別売の充電器を使う 88
 - 海外での使用について 88
- カードを使う..... 89
 - このカメラで使用できるカード 89
- 画質モード/ファイル容量/
撮影可能枚数..... 90
- 専用フラッシュを使う 91
- ワイヤレスRCフラッシュ撮影 91
- 市販のフラッシュを使う 92
- メニュー一覧..... 93
- 仕様 97

安全にお使いいただくために 99**索引 103**

やりたいこと別かんたん検索

撮影について



カメラまかせて撮りたい	▶ iオートモード(IAUTO)	13
特殊な効果を使って簡単に撮りたい	▶ アートフィルター (ART)	24
撮影する画像の縦横比を変えたい	▶ アスペクト比	44
シーンに合わせて簡単に撮りたい	▶ シーンモード(SCN)	25
簡単に一眼らしい写真を撮りたい	▶ ライブガイド	27
白いものを白く／黒いものを黒く撮りたい	▶ 露出補正	28
背景をぼかして撮影したい	▶ ライブガイド	27
	▶ A (絞り優先)	21
被写体の動きを止めて撮りたい／ 被写体の動きを表現したい	▶ ライブガイド	27
	▶ S (シャッター速度優先)	22
正しい色合いで撮影したい	▶ ホワイトバランス	43
	▶ ワンタッチWB	44
撮るものに合った仕上がりにしたい／ モノクロ撮影したい	▶ ピクチャーモード	42
	▶ アートフィルター (ART)	24
ピントを合わせたい／ 狙った一点にピントを合わせたい	▶ タッチパネル	38
	▶ AFターゲット	31
狙った被写体にピントが合わない	▶ フォーカスロック	19
ピントを合わせてから構図を変えたい	▶ フォーカスロック	19
	▶ C-AF+TR (追尾AF)	48
電子音が鳴らないようにしたい	▶ 電子音	65
フラッシュを禁止したい／ フラッシュを使わないで撮影したい	▶ フラッシュ撮影	29
	▶ ISO感度／ぶれ軽減	49/41
手ぶれを防ぎたい	▶ 手ぶれ補正	41
	▶ セルフタイマー	32
逆光時に被写体が暗くならないように したい	▶ フラッシュ撮影	29
	▶ 階調(ピクチャーモード)	55
花火を撮影したい	▶ バルブ撮影	23
	▶ シーンモード(SCN)	25
できるだけノイズ(ざらつき)を 抑えて撮りたい	▶ 長秒時ノイズ低減	23
	▶ 階調(ピクチャーモード)	55
白とび／黒つぶれを防ぎたい	▶ ヒストグラム／露出補正	65/28
	▶ トーンコントロール	28

モニターを見やすくしたい／ モニターの色味を調節したい	▶ モニタ調整 LVブースト	62 65
設定した効果を撮影前に確認したい	▶ プレビュー機能	70
水平・垂直を確認しながら撮りたい	▶ 水準器(☒/Info表示設定)	19
構図を意識して撮影したい	▶ 表示野線選択 (☒/Info表示設定)	65
撮った写真をすぐに拡大してピント を確認したい	▶ Auto▶ (撮影確認)	62
自分も写真に写りたい	▶ セルフタイマー	32
連続して写真を撮りたい	▶ 連写	32
電池を長持ちさせて撮りたい	▶ スリープ時間	65
撮影枚数を増やしたい	▶ 画質モード	90

再生／編集について



テレビに映して楽しみたい	▶ テレビ再生	71
BGMつきスライドショーを楽しみたい	▶ スライドショー	37
暗く影になった部分を明るくしたい	▶ 階調オート(JPEG編集)	59
赤目を修正したい	▶ 赤目補正(JPEG編集)	59
簡単に印刷したい	▶ ダイレクトプリント	76
プリントサービス店に依頼したい	▶ プリント予約	75

設定について

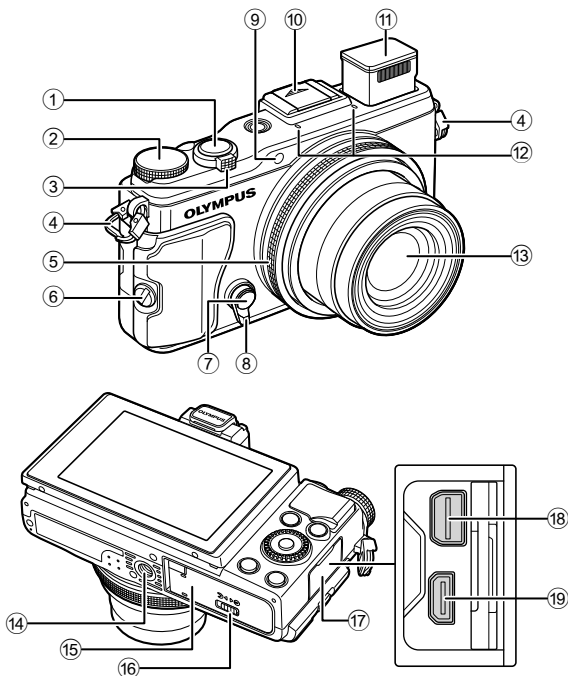


最初の設定に戻したい	▶ リセット	53
設定した内容を保存したい	▶ カスタムモード登録	53
メニューの表示言語を切り換えたい	▶ 言語 (言語切り換え)	62

1 カメラの準備と操作の流れ

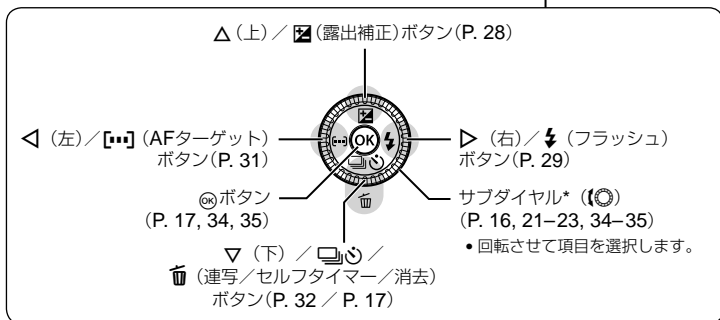
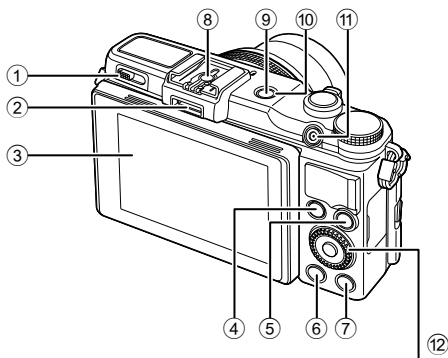
各部の名称

カメラ



- | | |
|--------------------------------------------|------------------------------|
| ① シャッターボタン.....P. 14, 48 | ⑩ ホットシューカバー |
| ② モードダイヤル.....P. 13 | ⑪ 内蔵フラッシュP. 15, 29 |
| ③ ズームレバーP. 15, 16, 34, 94 | ⑫ ステレオマイク |
| ④ ストラップ取り付け部P. 9 | ⑬ レンズ |
| ⑤ コントロールリング* (O)P. 34, 94 | ⑭ 三脚穴 |
| ⑥ グリップ着脱ネジ | ⑮ 電池/カードカバー.....P. 10 |
| ⑦ Fn2ボタンP. 70 | ⑯ 電池/カードカバーロックP. 10 |
| ⑧ レバー.....P. 48 | ⑰ コネクタカバー |
| ⑨ セルフタイマーランプ/
AFイルミネータP. 32/P. 63 | ⑱ マルチコネクタP. 71, 76, 79 |
| | ⑲ HDMIマイクロコネクタ(タイプD) ..P. 71 |

* 本書では、コントロールリングの操作をOのアイコンで示しています。

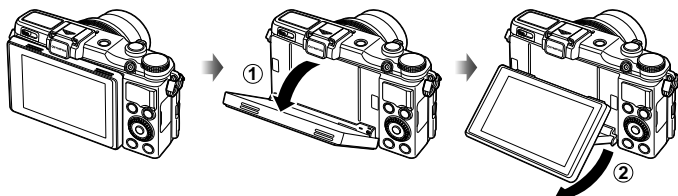


- | | |
|--------------------------------------------|----------------------------------------------|
| ① フラッシュスイッチ P. 15 | ⑦ INFO (情報表示) ボタン
..... P. 19, 33, 72, 74 |
| ② アクセサリーポート | ⑧ ホットシュー P. 91 |
| ③ モニター (タッチパネル)
..... P. 13, 18, 33, 38 | ⑨ ON/OFF ボタン P. 12 |
| ④ [PLAY] (再生) ボタン P. 16, 34 | ⑩ 動作ランプ P. 11 |
| ⑤ Fn1 ボタン P. 34, 70 | ⑪ [MOVIE] (ムービー) ボタン P. 15, 34 |
| ⑥ MENU ボタン P. 51 | ⑫ 十字ボタン P. 12 |

* 本書では、サブダイヤルの操作を [OK] のアイコンで示しています。

モニターの操作

モニターの角度を変えることができます。



同梱品を確認する

お買い上げの商品には次の付属品が入っています。
万一、不足していたり、破損していた場合には、お買い上げ販売店までご連絡ください。



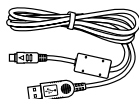
カメラ



レンズキャップ/
レンズキャップ用ひも



ストラップ



USBケーブル
CB-USB8

- PCソフトウェア
CD-ROM
- 取扱説明書(本書)
- 保証書



リチウムイオン電池
LI-90B



USB-AC
アダプタ(F-2AC)

ストラップとレンズキャップを取り付ける

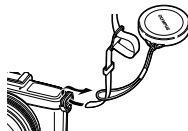
1



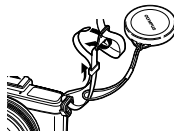
2



3



4







5



- 同様に逆側も取り付けます。
- 最後にストラップを少し強めに引っ張り、抜けないことを確認してください。

本書の表記について

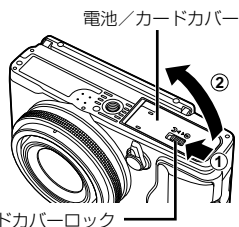
本文中、以下の表記を使用しています。

 注意	故障やトラブルになるような重要な注意事項や絶対に避けていただきたい操作、使用上ご注意くださいなどについて記載しています。
 メモ	実際に操作するときを確認していただきたいことを記載しています。
 こんなときは	知っておくと便利なことや役に立つ情報を記載しています。
	関連する情報の参照ページを記載しています。

電池とカードを入れる／取り出す

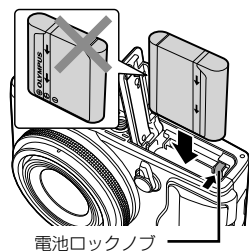
1 ①、②の手順で電池/ カードカバーを開く。

- 電池/ カードカバーの開け閉めの際は、電源を切ってください。



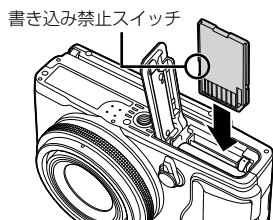
2 電池ロックノブを矢印の方向に押しながらか電池を入れる。

- 電池は を電池ロックノブ側にして図のように入れてください。
電池の外装にキズ等のダメージを加えますと、発熱・破裂のおそれがあります。
- 電池を取り出すには、電池ロックノブを矢印の向きに押し、ロックを外してから取り出します。



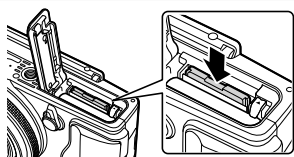
3 カードをまっすぐに差し、カチッと音がするまで押し込む。

- SD/SDHC/SDXCメモリーカードまたはEye-Fiカード以外は、絶対にカメラに入れないでください。「カードを使う」(P. 88)
- カードの金属部には直接手を触れないでください。



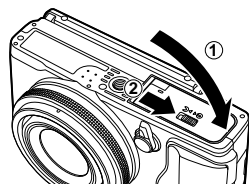
カードを取り出すには

カチッと音がするまでカードを押し込み、ゆっくり戻してから、カードをつまんで取り出します。



4 ①、②の手順で電池/ カードカバーを閉じる。

- カメラをご使用の際は、必ず電池/カードカバーを閉じロックをしてください。

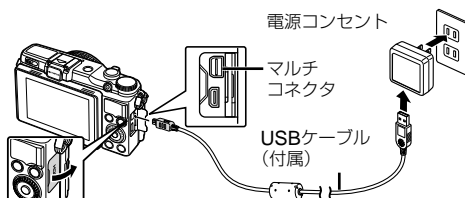


電池を充電する

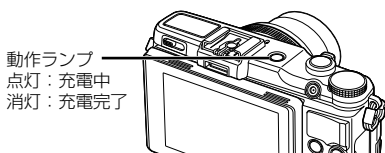
カメラにUSBケーブル、USB-ACアダプタを接続して充電します。

- お買い上げのとき、電池は十分に充電されていません。お使いになる前に、動作ランプが消えるまで(最長約5時間)電池を充電してください。

接続方法

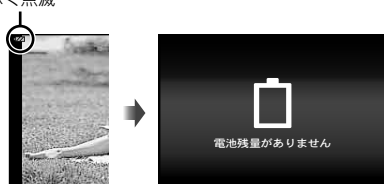


動作ランプ



電池の充電時期

次のエラーメッセージが表示されたら電池を充電してください。 赤く点滅



エラーメッセージ

- 付属のUSB-ACアダプタ(F-2AC) (以降、USB-ACアダプタ)は充電および再生用です。USB-ACアダプタをカメラに接続しているときは、撮影はできません。
- 充電が完了、または再生を終了したら、必ずUSB-ACアダプタの電源プラグをコンセントから抜いてください。
- 電池については「電池についてのご注意」(P. 100)、およびUSB-ACアダプタについては「USB-ACアダプタについてのご注意」(P. 101)をご覧ください。
- 電池の充電中に、動作ランプが点灯しない場合は、接続をご確認ください。
- パソコンとUSB接続している間も、電池を充電することができます。充電時間はパソコンなどの性能により大きく異なります。(パソコンなどの性能によっては10時間程度かかる場合もあります。)

電源を入れ、初期設定をする

はじめて電源を入れたときは、モニターに表示されるメニュー表示等の言語の設定、日付の設定をする画面が表示されます。

1

1 ON/OFF ボタンを押して電源を入れてから、 Δ ∇ \triangleleft \triangleright で言語を選び、 OK ボタンを押す。

2 Δ ∇ で[年]を選ぶ。



3 \triangleright を押して[年]を確定する。



4 手順2、3と同様に、 Δ ∇ \triangleleft \triangleright で[月]、[日]、[時刻]（時、分）、[年/月/日]（日付の順序）を設定したら、 OK ボタンを押す。

- [分]を設定中に0秒の時報に合わせて OK ボタンを押すと、正確に時刻を合わせることがができます。

5 \triangleleft \triangleright で[\uparrow]の地域を選び、 OK ボタンを押す。

- Δ ∇ で[サマータイム]の設定ができます。



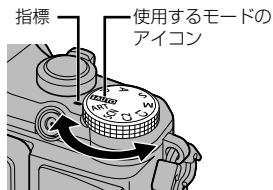
カメラのスリープ動作について

何も操作しない状態で設定した時間が経過すると、スリープモード(待機状態)になってモニターが消灯し、カメラは動作を停止します。シャッターボタンや ▶ ボタンなどを操作するとカメラは動作を再開します。スリープモードで5分放置すると電源が切れます。お使いになるときは、電源を入れなおしてください。

撮影する

撮影モードを選ぶ

モードダイヤルを使って、撮影モードを選びます。



1

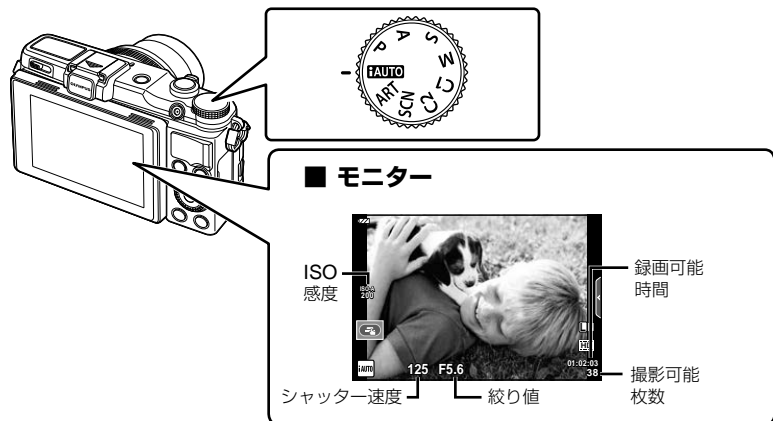
カメラの準備と操作の流れ

▶AUTO	カメラが撮影シーンに最適な撮影モードを自動的に設定するフルオートモードです。カメラまかせで撮影するので、はじめての方には便利です。
P	絞り値とシャッター速度を自動で最適値に設定します。
A	絞り値を選択して撮影します。背景のボケ具合を操作した撮影をします。
S	シャッター速度を選択して撮影します。動く被写体の動きを表現したり、動きを止めた撮影をします。
M	絞り値とシャッター速度を設定して撮影します。花火などの長時間露光による撮影などをします。
C1	撮影設定をあらかじめ保存しておき、その設定を呼び出して撮影できます。
C2	撮影設定をあらかじめ保存しておき、その設定を呼び出して撮影できます。
SCN	被写体に合わせてシーンを選択して撮影します。
ART	アートフィルターを選択して撮影します。

静止画を撮る

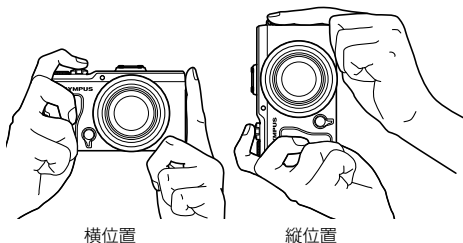
はじめはカメラにおまかせで撮ってみましょう。

1 モードダイヤルを**▶AUTO**にします。



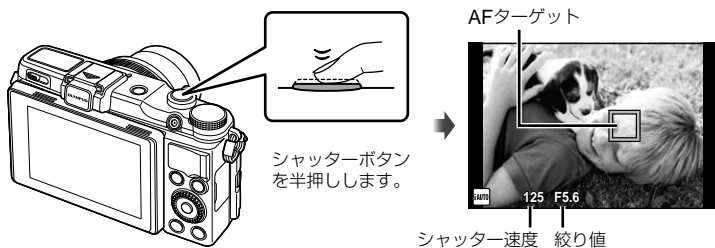
2 カメラを構えて構図を決めます。

- カメラを構えるときは、フラッシュやマイク等に指がかからないようご注意ください。



3 ピントを合わせます。

- シャッターボタンを1段目まで浅く押します。(半押し)



- カメラが自動的に決定したシャッター速度や絞り値が表示されます。

シャッターボタンの半押しと全押し

シャッターボタンは2段階になっています。シャッターボタンを1段目まで浅く押し、そのままの状態にすることを半押しといい、2段目まで深く押し込むことを全押しといいます。



4 撮影します。

- 半押しの状態から、さらにシャッターボタンを押し込みます(全押し)。
- シャッター音がかして、撮影されます。
- 撮影された画像がモニターに表示されます。

メモ

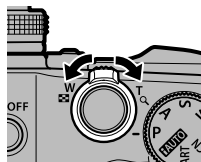
- タッチパネルを使った撮影もできます。☞ 「タッチパネルを使う」(P. 38)

ズームを使う

ズームレバーを回して撮影する範囲を調節します。

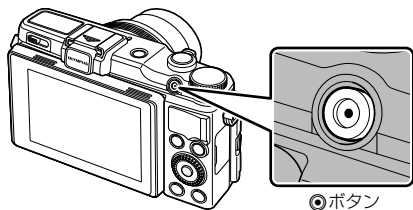
広角(W)側

望遠(T)側



ムービーを撮る

- 1 モードダイヤルを **MOVIE** にします。
- 2 **○** ボタンを押して撮影を始めます。



- 3 再度 **○** ボタンを押して撮影を終了します。



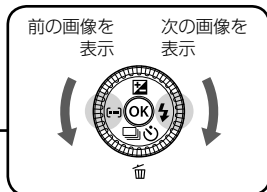
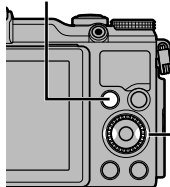
撮った画像／ムービーを見る

1 ▶ ボタンを押します。

- 最後に撮影した画像が表示されます。
- ◀▶ を押すかサブダイヤルを回すと画像が選択できます。

▶ ボタン

十字ボタン／サブダイヤル



インデックス再生

- 1コマ再生でズームレバーをW側に回すとインデックス再生します。



クローズアップ再生

- 1コマ再生でズームレバーをT側に回すと14倍まで拡大表示され、W側に回すと1コマ再生に戻ります。
- 拡大倍率はコントロールリングでも変更できます。



ムービーを見る

ムービーを選んで \odot ボタンを押すと再生メニューが表示されます。[ムービープレイ]を選択して、 \odot ボタンを押すとムービー再生が始まります。

- MENUを押すと中断します。



音量の調節

1コマ再生やムービー再生中に Δ ∇ を押すとスピーカーの音量調節ができます。



画像の選択

画像の選択をします。複数の選択をして一括してプロテクトや削除をすることができます。 \odot ボタンを押すと画像が選択され、 \checkmark が表示されます。もう一度押すと解除されます。

複数の画像を選択して、 \odot ボタンを押すと一括してプロテクトや解除ができます。



画像の消去

消去したい画像を再生し、 ∇ (🗑️)を押します。[実行]を選択し \odot ボタンを押すと消去されます。

あらかじめ消去したい画像を選んで、一括して消去することもできます。🗑️ 「画像の選択」(P. 17)

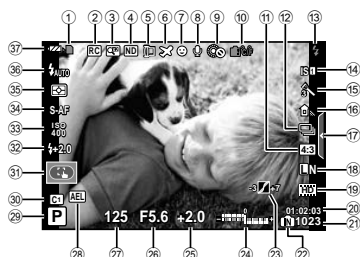


2 基本操作

撮影の基本操作

撮影時

2 基本操作



- ① カード書き込み中.....P. 89
- ② RCモード.....P. 91
- ③ デジタルテレコン.....P. 70
- ④ NDフィルター.....P. 70
- ⑤ コンバージョンレンズ.....P. 58
- ⑥ ワールドタイム.....P. 62
- ⑦ 顔優先.....P. 47, 49
- ⑧ ムービー録音.....P. 17
- ⑨ ロック.....P. 63
- ⑩ 内部温度上昇警告 C/F.....P. 84
- ⑪ 連写/セルフタイマー.....P. 32
- ⑫ アスペクト比.....P. 44
- ⑬ フラッシュ.....P. 29
(点滅：充電中)
- ⑭ 手ぶれ補正.....P. 41
- ⑮ アートフィルター.....P. 24
- シーン.....P. 25
- ピクチャーモード.....P. 42
- ⑯ ホワイトバランス.....P. 43
- ⑰ ライブガイド呼び出し.....P. 27, 38
- ⑱ 画質モード(静止画).....P. 45
- 画質モード(ムービー).....P. 46
- ⑳ 録画可能時間
- ㉑ 撮影可能枚数.....P. 90
- ㉒ 使用メモリ.....P. 89
- ㉓ トーンコントロール.....P. 28
- ㉔ 上：フラッシュ補正.....P. 46
下：露出補正バー.....P. 28
- ㉕ 露出補正值.....P. 28
- ㉖ 絞り値.....P. 20-23
- ㉗ シャッター速度.....P. 20-23
- ㉘ AEロックP. 47
- ㉙ 撮影モード.....P. 13, 20-23
- ㉚ カustomモード登録.....P. 53
- ㉛ タッチ操作モード.....P. 38
- ㉜ フラッシュ補正.....P. 46
- ㉝ ISO感度.....P. 49
- ㉞ AF方式.....P. 48
- ㉟ 測光方式.....P. 47
- ㊱ フラッシュモード.....P. 29
- ㊲ 電池残量
 点灯(緑)：撮影できます。
(電源オン後、約10秒間表示します。)
 点灯(緑)：電池残量が少なくなっています。
 点滅(赤)：充電してください。
- ㊳ ズーム表示.....P. 15
- ㊴ コントロールリング機能.....P. 94
- ㊵ ヒストグラム.....P. 19

情報表示を切り換える

INFOボタンで撮影時の情報表示の切り換えができます。



ヒストグラム表示

画像の明るさの分布をヒストグラムで表示します。横軸は明るさ、縦軸は明るさごとの画素数を表しています。撮影時は上限値以上の部分を赤、下限値以下の部分を青、スポット測光のエリア内を緑で表示します。

フォーカスロックを使う

狙った被写体にうまくピントが合わないときは、AFターゲットをシングルターゲットにして被写体とほぼ同じ距離のものにピントを固定します。


1 [S-AF]で被写体にAFターゲットを合わせ、半押しします。

- AFターゲットマークが緑色に点灯していることを確認してください。
- 半押ししている間、ピントは固定されます。

2 半押ししたまま、被写体との距離が変わらないように構図を変えて、全押しします。

- シャッターボタンを半押ししている間、被写体との距離は変えないでください。

こんなときは

- フォーカスロックを使ってもうまくピントが合わないときは、**[AF-ON]** (AFターゲット選択) を使います。 「ピントの位置を自分で決める(AFターゲット選択)」(P. 31)

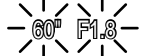
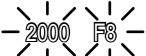
撮影モードを使う

カメラまかせで撮影する(Pプログラム撮影)

Pモードは被写体の明るさに応じて、最適な絞り値とシャッター速度をカメラが自動的に設定する露出モードです。



- カメラが設定したシャッター速度と絞り値がモニターに表示されます。
- シャッター速度と絞り値が点滅しているときは、適正露出が得られません。

警告表示例(点滅)	状態	対処方法
	被写体が暗すぎます。	• フラッシュを使用してください。
	被写体が明るすぎます。	• カメラの測光範囲を超えています。[NDフィルター設定] (P. 40)を[On]に設定してください。

プログラムシフト(Ps)

Pモードのときは、適正露出を維持したまま、絞り値とシャッター速度の組み合わせをコントロールリングで変更できます。プログラムシフトになると、撮影モードの横に「s」が表示されます。プログラムシフトを解除するには、プログラムシフトにしたときと逆方向に「s」が消えるまでダイヤルを回します。

- フラッシュ使用時は、プログラムシフトはできません。



プログラムシフト

絞りを決めて撮影する(A 絞り優先撮影)

Aモードは、絞り値を設定するとカメラが適正なシャッター速度を自動的に設定する露出モードです。モードダイヤルを**A**にします。

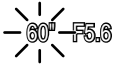
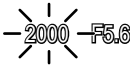
- コントロールリングで絞り値を、サブダイヤルで露出補正を設定できます。
- 絞り(F値)を開く(絞り値の数値を小さくする)ほど、ピントの合う範囲(被写界深度)が狭くなり、背景のボケが強くなります。絞りを絞る(絞り値の数値を大きくする)ほど、ピントの合う範囲が前後に広がります。



絞り値

絞り値が小さい F2 ← F5.6 → F8.0 絞り値が大きい

- シャッター速度が点滅しているときは、適正露出が得られません。

警告表示例(点滅)	状態	対処方法
	露出アンダーです。	<ul style="list-style-type: none"> • 絞り値を小さくしてください。
	露出オーバーです。	<ul style="list-style-type: none"> • 絞り値を大きくしてください。 • それでも解消されないときは、カメラの測光範囲を超えています。[NDフィルター設定] (P. 40)を[On]に設定してください。

シャッター速度を決めて撮影する(S シャッター優先撮影)

Sモードは、シャッター速度を設定するとカメラが適正な絞り値を自動的に設定する露出モードです。モードダイヤルを**S**にします。

- コントロールリングをでシャッター速度を、サブダイヤルで露出補正を設定できます。
- シャッター速度を速くすると、動きの速い被写体でも止まっているように撮影できます。シャッター速度を遅くすると、動いているものはぶれて撮影されますが、躍動感や動きのある仕上がりになります。



シャッター速度

シャッター速度が遅い 2" ←1←15←60→100→400→1000 シャッター速度が速い

- 絞り値が点滅しているときは、適正露出が得られません。

警告表示例(点滅)	状態	対処方法
2000 F1.8	露出アンダーです。	<ul style="list-style-type: none"> • シャッター速度を遅くします。
125 F8	露出オーバーです。	<ul style="list-style-type: none"> • シャッター速度を速くします。 • それでも解消されないときは、カメラの測光範囲を超えています。[NDフィルター設定] (P. 40)を[On]に設定してください。

絞りとシャッター速度を自分で決める(M マニュアル撮影)

Mモードは絞り値とシャッター速度を自分で設定する露出モードです。シャッターボタンを押している間露光し続けるバルブ撮影にも設定できます。モードダイヤルをMにして、コントロールリングでシャッター速度、サブダイヤルで絞り値を設定します。

- シャッター速度は1/2000～60秒、および[BULB]に設定できます。
- コントロールリングとサブダイヤルに割り当てる機能を変更できます。
☞ [ダイヤル機能] (P. 94)

⚠ 注意

- Mモードでは、露出補正はできません。

露出終了タイミングを決めて撮影する(バルブ撮影)

シャッターボタンを押している間、露光し続けるバルブ撮影を行います。被写体にあわせて露出終了タイミングを決めて撮影します。花火や夜景などの撮影に使います。

Mモードでシャッター速度を[BULB]に設定します。

⚠ 注意

- 最長16分(初期設定)
- バルブ撮影の最長時間は、ISO感度に依存します。
- バルブ撮影の際は、ぶれを抑えるために、しっかりした三脚やリモートケーブル(別売)の使用をおすすめします。
- バルブ撮影中は、以下の機能は使用できません。
連写/セルフタイマー撮影/ AEブラケット撮影/手ぶれ補正/フラッシュブラケット

画像のノイズについて

長秒時の撮影では、画面にノイズが多く発生する場合があります。これは撮像素子の温度上昇や、撮像素子内部の駆動回路が熱源となり、本来撮像素子に光のあたっていない部分にも電流を発生させてしまうためです。この現象は、高温の環境でISO感度を上げたり、長秒時の露出で顕著に表れます。これらのノイズを軽減するために、このカメラは長秒時ノイズ低減が働きます。☞ [長秒時ノイズ低減] (P. 66)

アートフィルターを使う

1 モードダイヤルをARTに設定します。

- アートフィルターメニューが表示されます。
△▽でフィルターを選択し、**OK** ボタンを押します。



2

基本操作

■ アートフィルターの種類

- | | |
|-------------------------|----------------------|
| ART ポップアート | ART ジオラマ |
| ART ファンタジックフォーカス | ART クロスプロセス |
| ART デイドリーム | ART ジェントルセピア |
| ART ライトトーン | ART ドラマチックトーン |
| ART ラフモノクローム | ART リーニュクレール |
| ART トイフォト | |

2 撮影します。

- 他の設定を選ぶときは、**OK** ボタンを押すとアートフィルターメニューを表示できます。

アートエフェクト機能

アートフィルターの雰囲気を変えたり、エフェクト(効果)をつけることができます。アートフィルターメニューで**▷** ボタンを押すと設定画面が表示されます。

タイプ(雰囲気)

I : オリジナルのアートフィルター、II以降: オリジナルに対して変化をつけたもの

効果の追加(エフェクト) *

ソフトフォーカス効果、ピンホール効果、枠(フレーム)効果、ホワイトエッジ効果、スターライト効果

* アートフィルターごとに異なります。

① 注意

- 画質モードが**[RAW]**のときは、自動的に**[ON+RAW]**に設定されます。アートフィルターの効果はJPEG画像にのみ適用されます。
- 撮影シーンによっては階調が崩れたり、補正の効きが弱くなったり、また画像の粗さが強調される場合があります。
- エフェクトの設定によっては、ライブビューやムービー撮影に反映しないものもあります。
- フィルター、効果、ムービーの画質設定によっては、再生時の動きが異なります。
















シーンモードを使う

1 モードダイヤルをSCNに設定します。

- シーンメニューが表示されます。△▽でシーンを選択します。
- **OK** ボタンを押すかシャッターボタンの半押しでライブビュー画面に変わります。**OK** ボタンを押すとシーンメニューに戻ります。



■ シーンモードの種類

 ポートレート	 夕日	 水中ワイド
 eポートレート	 文書	 水中マクロ
 風景	 パノラマ(P. 26)	 HDR逆光補正
 スポーツ	 打ち上げ花火	
 夜景	 多重露光	
 夜景&人物	 ビーチ&スノー	

2 撮影します。

- 他の設定を選ぶときは、**OK** ボタンを押すとシーンメニューを表示できます。

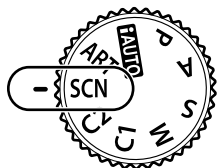
⚠ 注意

- **[eポートレート]**では、効果適用前と適用後の画像の2枚が同時に記録されます。設定した画質モードで効果適用前の画像を、また、JPEG (**M** (2560×1920))で効果適用後の画像を記録します。
- ムービー撮影では、一部のモードで効果が適用されません。

パノラマ写真を撮影する

撮った画像をつなぎ合わせて、パノラマ合成画像を作成できます。パノラマ合成をするには、お使いのパソコンに付属のPCソフトウェアをインストールする必要があります。☞「ソフトウェアのインストール」(P. 79)

1 モードダイヤルをSCNにします。



2 [パノラマ]を選択して、**OK**ボタンを押します。

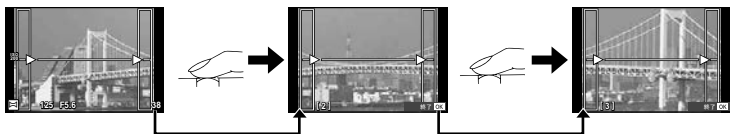
3 Δ ∇ \triangleleft \triangleright で画像をつなぐ方向を選びます。

4 ガイド枠を目安に、1コマ目を撮影します。

- ピントや露出などは、1コマ目の撮影で決定されます。



5 ガイド枠内が、前の画像と重なる構図で次のコマを撮影します。



- 最大10枚までの撮影と合成が可能です。10枚撮り終わると**!** (警告)マークが表示されます。

6 最後のコマを撮影した後に**OK**ボタンを押して、パノラマ撮影を終了します。

⚠ 注意

- パノラマ撮影時には、前に撮影した位置合わせ用の画像は表示されません。画像に表示される枠や目印となる被写体を目安に、重なり合う画像の端が枠の中に重なるように構図を設定してください。

📌 メモ

- 1コマ目の撮影前に**OK**ボタンを押すと、シーンモードの選択メニューに戻ります。撮影の途中で**OK**ボタンを押すと、一連のパノラマ撮影を終了し、続けて次のパノラマ撮影ができます。

撮影機能を使う

ライブガイドを使う

- 1 モードダイヤルを**FAUTO**に設定します。
- 2 **OK** ボタンを押してライブガイドを表示し、十字ボタンの Δ ∇ でガイド項目を選択し**OK** ボタンを押します。



- 3 十字ボタンの Δ ∇ でレベルを選択します。
 - **【撮影のヒント】**を選んだときは、項目を選んで**OK** ボタンを押すと説明が表示されます。
 - シャッターボタンを半押しするか、**OK** ボタンを押すと設定が確定します。
 - レベルを選択すると画面で効果を確認することができます。**【背景をぼかす】**、**【動きを表現する】**の項目では設定を確定すると元の表示に戻りますが、撮影した画像に効果は反映されます。



4 撮影します。

- シャッターボタンを押して撮影します。
- MENUボタンを押すとライブガイドは終了します。

⚠ 注意

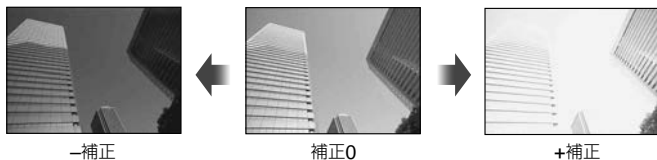
- 画質モードが**【RAW】**のとき、自動的に**【L+N+RAW】**に設定されます。
- RAW画像の場合、**【背景をぼかす】**、**【動きを表現する】**以外のライブガイド設定は適用されません。
- ライブガイドの設定レベルによっては、画像の粗さが強調される場合があります。
- ライブガイドの設定レベルを変えても、効果をライブビューであまり確認できない場合があります。
- ライブガイドではフラッシュは無効です。
- ライブガイド項目を変更すると、前の項目の設定はキャンセルされます。
- ライブガイドの設定がカメラの連動範囲外になると、白く飛んだり暗い画像になる場合があります。

💡 こんなときは

- **FAUTO**モード以外は、ライブコントロールを使って、より細かい設定ができます。
👉 **「ライブコントロールを使う」** (P. 40)

画像の明るさを変えて撮影する(露出補正)

サブダイヤルを回して露出補正を行います。+補正にするとより明るく、-補正にするとより暗く表現できます。±3.0EVの範囲で補正できます。



2

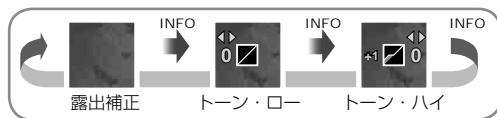
基本操作

⚠ 注意



- **AUTO**、**M**、**SCN** (一部を除く)では、露出補正はできません。

ハイライト部/シャドウ部の明るさを変えて撮影する


☑ボタン(Δ)を押して、**INFO**ボタンを押すとトーンコントロール設定画面になります。◀▶でトーン補正を行います。トーン・ローで-補正にすると暗い部分をより暗く引き締め、トーン・ハイで+補正にすると明るい部分をより明るく表現します。











フラッシュを使って撮影する(フラッシュ撮影)

- 1 フラッシュスイッチをスライドしてフラッシュをポップアップさせます。
- 2  ボタン(▷)を押して、選択項目を表示させます。
- 3 ◀▷でフラッシュ発光モードを選択し、 ボタンを押します。



- 撮影モードによってフラッシュ発光モードの種類と並びの順番は異なります。

 「撮影モード別使用可能なフラッシュ発光モード」(P. 30)

 AUTO	オート発光	暗いときや逆光のとき、フラッシュが自動的に発光します。
	赤目軽減発光	人物の目が赤く写る現象を起こりにくくします。
	強制発光	フラッシュを必ず発光させます。
	発光禁止	フラッシュは発光しません。
 SLOW	スローシンクロ + 赤目軽減発光	スローシンクロと赤目軽減発光を併用します。
 SLOW	スローシンクロ	背景が明るく撮れるように遅いシャッター速度でフラッシュを発光させます。
 FULL、  1/4など	マニュアル発光	マニュアル操作で撮影をする人向け。

- 4 シャッターボタンを全押しします。

注意

- [ (赤目軽減発光)]では、最初の予備発光からシャッターが切れるまで約1秒かかります。撮影が終わるまでカメラを動かさないでください。
- 撮影状況によっては、 [ (赤目軽減発光)] の効果が得られないことがあります。

撮影モード別使用可能なフラッシュ発光モード

撮影モード	スーパーコンパネの表示	フラッシュ発光モード	発光許可条件
P/A	 AUTO	オート発光	暗いとき、逆光のとき 発光
		オート発光(赤目軽減)	発光
		強制発光	いつでも発光
		発光禁止	—
	 SLOW	スローシンクロ(赤目軽減)	暗いとき、逆光のとき 発光
	 SLOW	スローシンクロ	—
S/M	 AUTO	オート発光	暗いとき、逆光のとき 発光
		オート発光(赤目軽減)	発光
		強制発光	いつでも発光
		発光禁止	—

- **AUTO**では **AUTO**、のみ選択できます。

至近限界

被写体が近いとレンズの影になったり、発光量を最小にしても強すぎる場合があります。

- 影を防ぐには外付けのフラッシュをお使いください。また、露出オーバーを防ぐには**A**、**M**モードなどで絞り値を大きく、ISO感度を小さく設定して撮影します。

ピントの位置を自分で決める(AFターゲット選択)

35点または25点の中から、ピント合わせに使うAFターゲットを選びます。

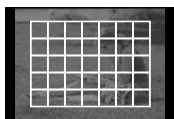
1 [⋮]ボタン(◀)を押して、AFターゲットを表示します。

2 △▽◀▷でシングルターゲット表示にしてAF位置を選択します。

- 端の枠からさらに外側に移動させるとオールターゲットに戻ります。
- 以下の5つの選択方法を切り換えることができます。INFOボタンを押してから△▽で選びます。

オールターゲット

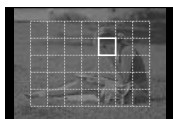
すべてのAFターゲットから、カメラがピントを合わせるAFターゲットを自動的に選びます。



オールターゲット 7×5

シングルターゲット

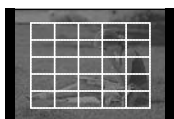
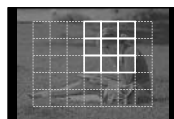
ピント合わせをするAFターゲットを手動で選びます。



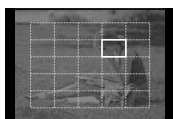
シングルターゲット 7×5

グループターゲット

選択したグループの中から、カメラがピントを合わせるAFターゲットを自動的に選択します。





オールターゲット 5×5









シングルターゲット 5×5

連写する／セルフタイマーを使う



シャッターボタンを全押ししている間、連続撮影ができます。また、セルフタイマーを使うと記念撮影で撮影者自身も写りたいときや、カメラを固定して手ぶれのない静止画を撮りたいときに便利です。

1   ボタン(▽)を押して、選択項目を表示させます。

2 <▶> で項目を選択し、 ボタンを押します。

 単写	一度のシャッターボタンの全押しで、1コマだけ撮影されます(通常の撮影モード、1コマ撮影)。
 連写	シャッターボタンを全押ししている間、約5コマ/秒で連続撮影できます([AF方式] (P. 48)が[S-AF]または[MF]のとき)。
 高速連写	シャッターボタンを全押ししている間、約15コマ/秒で連続撮影できます([AF方式] (P. 48)が[S-AF]または[MF]のとき)。
BKT BKT	シャッターボタンを全押ししている間、1コマごとに自動的に設定を変えた画像を撮影します(ブラケット撮影)。
 12s セルフタイマー 12s	シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しするとセルフタイマーランプが約10秒間点灯し、さらに約2秒間点滅した後、撮影されます。
 2s セルフタイマー 2s	シャッターボタンを半押ししてピントを合わせ、全押しするとセルフタイマーランプが約2秒間点滅した後、撮影されます。

メモ

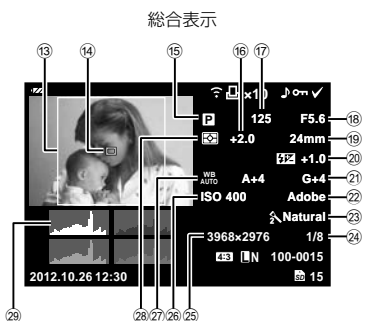
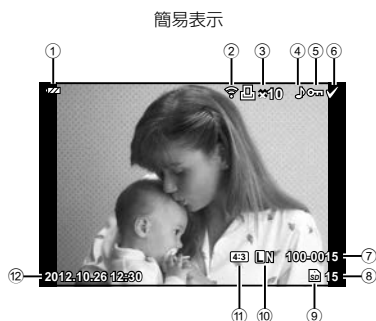
- セルフタイマー作動中に撮影を中止するには、  ボタンを押します。
- 連写中、ピント・露出・ホワイトバランスは、最初の1コマで固定されます([S-AF]、[MF]時)。
- ブラケット撮影をするには、あらかじめ**【ブラケット撮影】** (P. 56)を設定しておく必要があります。

注意

- 連写中、電池の消耗により電池残量マークが点滅すると、撮影を中止してカードに記録を始めます。電池の状態によっては、すべての画像を記録できない場合があります。
- セルフタイマー撮影の際は、カメラを三脚にしっかりと固定してください。
- セルフタイマー撮影時に、カメラの前に立ってシャッターボタンを押すとピントがボケる原因になります。

再生の基本操作

再生時の画面表示



- | | |
|--------------------------------|----------------------------------|
| ① 電池残量 P. 11 | ⑮ 撮影モード P. 13, 20-23 |
| ② Eye-Fi送信完了 P. 69 | ⑯ 露出補正 P. 28 |
| ③ プリント予約
プリント枚数 P. 75 | ⑰ シャッター速度 P. 20-23 |
| ④ 録音 P. 36 | ⑱ 絞り値 P. 20-23 |
| ⑤ プロテクト(保護) P. 36 | ⑲ 焦点距離 P. 15 |
| ⑥ 画像選択 P. 17 | ⑳ フラッシュ補正 P. 46 |
| ⑦ ファイル番号 P. 67 | ㉑ ホワイトバランス補正值 P. 95 |
| ⑧ コマ番号 | ㉒ カラー設定 P. 66 |
| ⑨ 記録メディア P. 88 | ㉓ ピクチャーモード P. 42 |
| ⑩ 画質モード P. 67 | ㉔ 圧縮率 P. 45-67 |
| ⑪ アスペクト比 P. 44 | ㉕ ピクセルサイズ P. 45-46, 67, 90 |
| ⑫ 日時 P. 12 | ㉖ ISO感度 P. 49 |
| ⑬ アスペクト枠 P. 59 | ㉗ ホワイトバランス P. 43 |
| ⑭ AFターゲット表示 P. 31 | ㉘ 測光方式 P. 47 |
| | ㉙ ヒストグラム P. 19, 65 |

情報表示を切り換える

INFOボタンで再生時の情報表示の切り換えができます。



再生時の操作

▶ボタンを押すと、画像が1コマで再生されます。シャッターボタンを半押しすると撮影モードに戻ります。

インデックス再生



1コマ再生

W
→
←
T



4分割

W
→
←
T



9分割、25分割

インデックス再生

クローズアップ再生



1コマ再生

W
←
→
T



クローズアップ再生

サブダイヤル (I/O)	コマ戻し (I/O) / コマ送り (I/O)
十字ボタン (△▽◀▶)	1コマ再生：コマ送り (▶) / コマ戻し (◀) クローズアップ再生：クローズアップ位置の変更 インデックス再生：画像の選択
INFO	画像情報の表示
● (ムービーボタン)	画像の選択 (P. 17)
🗑️ (▽)	画像の消去 (P. 17)
⊙	メニューの表示
コントロールリング (O)	拡大/縮小
Fn1	プロテクト

再生機能を使う

再生画面で **OK** ボタンを押すと、再生モードで使える簡単な機能のメニューが表示されます。



	静止画コマ			ムービーコマ
	RAW	JPEG	RAW+JPEG	
JPEG編集 OK P. 59	—	○	○	—
RAW編集 OK P. 59	○	—	○	—
ムービープレイ	—	—	—	○
音声再生	○	○	○	—
プロテクト	○	○	○	○
録音	○	○	○	—
回転	○	○	○	—
スライドショー	○	○	○	○
プリント予約	—	○	○	—
1コマ消去	○	○	○	○

ムービーコマを操作する(ムービープレイ)

OK	ムービーを一時停止／再開します。 • 一時停止中に以下の操作ができます。						
	<table border="1"> <tbody> <tr> <td>◀▶またはサブダイヤル</td> <td>コマ戻し／コマ送り ◀▶を押し続けると動作を続けます。</td> </tr> <tr> <td>△</td> <td>先頭フレームを表示します。</td> </tr> <tr> <td>▽</td> <td>最後のフレームを表示します。</td> </tr> </tbody> </table>	◀▶またはサブダイヤル	コマ戻し／コマ送り ◀▶を押し続けると動作を続けます。	△	先頭フレームを表示します。	▽	最後のフレームを表示します。
	◀▶またはサブダイヤル	コマ戻し／コマ送り ◀▶を押し続けると動作を続けます。					
	△	先頭フレームを表示します。					
▽	最後のフレームを表示します。						
◀▶	ムービーの早送り、巻き戻しを行います。						
△/▽	音量の調節ができます。						

❗ 注意

- パソコンでのムービー再生には付属のPC用ソフトウェアをおすすめします。はじめてソフトウェアをお使いになる際は、カメラをパソコンに接続してからソフトウェアを起動してください。

画像のプロテクト(保護)

画像を誤って消さないように保護します。保護したい画像を再生して**Fn1**ボタンを押すと、画像に**Om** (プロテクトマーク)が付きます。再度**Fn1**ボタンを押すと解除されます。

あらかじめプロテクトしたい画像を選んで、一括してプロテクトすることもできます。🔍 「画像の選択」(P. 17)



⚠ 注意

- カードを初期化した場合は、プロテクトされている画像も消去されます。

音声録音

静止画に音声を録音します(最長4秒)。

1 再生画面で音声を録音する画像を表示し、**OK**ボタンを押します。

- プロテクトされた画像には録音できません。
- 音声録音は再生メニューからも設定できます。

2 [録音]を選択して、**OK**ボタンを押します。

- 録音を中止する場合は、[中止]を選択してください。



3 [録音スタート]を選択して**OK**ボタンを押すと、録音を開始します。

- 途中で録音を中止するときは**OK**ボタンを押します。

4 **OK**ボタンを押して、録音を終了します。

- 音声を録音した画像には🎵が表示されます。
- 録音した音声を消去する場合は、手順2で[消去]を選択してください。



回転

撮影した画像を回転させることができます。

1 再生画面で画像を表示し、**OK**ボタンを押します。

2 [回転]を選択して、**OK**ボタンを押します。

3 △ (反時計回り)、▽ (時計回り)を押すたびに画像が回転します。

- OK**ボタンを押して、設定を終了します。
- 回転表示した画像はその状態でカードに記録されます。
- ムービーやプロテクトされている画像は回転できません。

スライドショー

カードに記録された画像を自動的に連続して再生します。

- 再生画面で \odot ボタンを押し、スライドショーを選択します。



- スライドショーの設定をします。

スタート	スライドショーを開始します。表示している画像から、順に再生されます。
BGM	5種類のBGM、または[Off]を設定します。
効果	画像が切り替わるときの表示効果を選べます。
スライド	再生する画像の種類を設定します。
1コマ再生時間	次の画像に切り換わる間隔を2～10秒の間で設定します。
ムービー再生	ムービーを再生するときに、ムービー全編を再生する[フル]か、途中までの部分を再生する[ショート]を設定します。

- [スタート]を選択して \odot ボタンを押します。

- スライドショーが始まります。
- \odot ボタンを押すとスライドショーが停止します。

タッチパネルを使う

モニターを直接指で触れてカメラの操作ができます。

ライブガイドで使う


ライブガイドの操作や設定ができます。




- 1 タブにタッチした状態で、指を左に動かすとライブガイドが表示されます。
 - 項目を選びタッチすると設定可能な状態になります。
- 2 レベルバーのスライダーを指で上下させて設定します。
 - MENUボタンを押すとライブガイドが終了します。

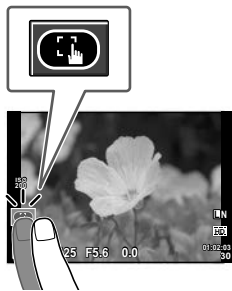


撮影モードで使う

モニターにタッチしてピントを合わせる被写体を選んだり、シャッターを切ることができます。

 ボタンにタッチするたびに操作方法が切り換わります。

-  タッチ操作を禁止します。
-  タッチした箇所にピントを合わせて自動的に撮影します。
-  タッチした箇所にAFフレームを表示します。AFフレームの位置は指で操作できます。撮影はシャッターボタンを押します。



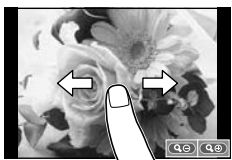
再生モードで使う

表示する画像の切り換えや拡大などができます。

■ 1コマ再生で使う

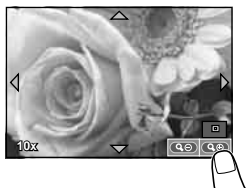
コマ送り／コマ戻し

- タッチした状態で、指を左に動かすとコマ送りし、右に動かすとコマ戻しします。



拡大

- をタッチすると画面を拡大表示できます。 を何回かタッチすると1コマ再生に戻ります。
- 拡大中に、タッチした状態で指を動かすとスクロールできます。
- にタッチするとインデックス再生になります。



■ インデックス再生で使う

ページを送る／戻す

- タッチした状態で、指を上にかかすとページを送り、下にかかすとページを戻します。
- または で表示するコマ数を切り換えられます。
- に何度かタッチすると1コマ再生に戻ります。



画像を見る

- 見たい画像にタッチすると1コマ表示します。

機能設定で使う

スーパーコンパネで機能を選択できます。 「スーパーコンパネを使う」(P. 73)

1 スーパーコンパネを表示します。

- ボタンを押してカーソルを表示します。



2 設定する機能にタッチします。

- タッチした機能にカーソルが表示されます。

3 コントロールリングを回して設定を変更します。

- タッチして設定を変更できる機能もあります。



① 注意

- 次の場合はタッチ操作できません。
ムービー撮影中／パノラマ／e-ポートレート／バルブ撮影中／ワンタッチWB取得画面／ボタンまたはダイヤル操作中など
- セルフタイマー撮影のときにモニターにタッチするとタイマーを開始します。中止するにはもう一度タッチします。
- 先のとがったものや爪で操作しないでください。
- モニター保護シートや手袋を使っていると、うまく操作できない場合があります。

こんなときは

- タッチパネルを無効にしたい。**[タッチパネル設定]**： 「撮影モードで使う」(P. 38)

3 便利な機能とカスタマイズ

ライブコントロールを使う

P/A/S/Mモードではライブコントロールによって機能の設定ができます。ライブコントロールを使うと、画面で効果を確認しながら撮影機能の設定をすることができます。



■ 設定できる機能

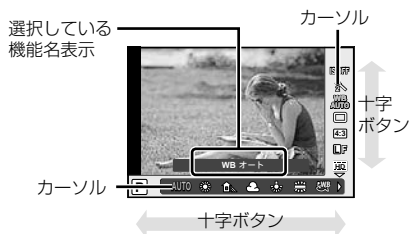
手ぶれ補正.....	P. 41	フラッシュ補正.....	P. 46
ピクチャーモード.....	P. 42	測光方式.....	P. 47
ホワイトバランス.....	P. 43	AF方式.....	P. 48
ドライブ/セルフタイマー.....	P. 32	ISO感度.....	P. 49
アスペクト比.....	P. 44	顔優先.....	P. 49
画質モード.....	P. 45	NDフィルター設定	
フラッシュモード.....	P. 29		

1 OKボタンを押してライブコントロールを表示します。

- 再度OKボタンを押すとライブコントロールの表示が消えます。

2 △▽でカーソルを設定したい機能に移動し、◀▶で設定を選択しOKボタンを押します。

- 何も操作せず約8秒間経過すると、設定が確定します。



❗ 注意

- 撮影モードによっては選択できない機能があります。

🔧 こんなときは

- さらに高度な機能やカメラのカスタマイズは、メニューを使って設定します。
🔍 「メニューを使う」(P. 51)



手ぶれを抑えて撮影する(手ぶれ補正)

被写体が暗い場面や、高倍率撮影などで起きやすい手ぶれを抑えることができます。

1 ライブコントロールを表示して、
△▽で手ぶれ補正を選択します。



2 ◀▶で項目を選択してⓄボタンを押します。

静止画	OFF	IS Off	手ぶれを補正しません。
	IS1	全方向補正	手ぶれを補正します。
	IS2	縦ぶれ補正	カメラの縦方向  の手ぶれだけを補正します。流し撮りをするときに使います。
	IS3	横ぶれ補正	カメラの横方向  の手ぶれだけを補正します。カメラを縦に構えて流し撮りするときに使います。

⚠ 注意

- 手ぶれが大きすぎるときやシャッター速度が極端に遅い場合、手ぶれを補正しきれないことがあります。このときは三脚を使用して撮影してください。
- 三脚使用時は【手ぶれ補正】を【Off】に設定してください。

画像の仕上がりを設定する(ピクチャーモード)

画像の色調を選択することができます。また個別に、コントラストやシャープネスなどの画像パラメータを微調整することもできます。調整したパラメータは仕上がり項目ごとに記憶されます。

- 1 ライブコントロールを表示して、△▽でピクチャーモードを選択します。



- 2 <△>で項目を選択してⓀボタンを押します。

Vivid	色鮮やかに仕上げます。
Natural	自然な色合いに仕上げます。
Flat	素材性を重視した仕上がりになります。
Portrait	肌色をきれいに仕上げます。
モノトーン	モノクロ調に仕上げます。
ポップアート	アートフィルターの設定になります。さらにそれぞれのアートエフェクト機能が使えます。
ファンタジックフォーカス	
デイドリーム	
ライトトーン	
ラフモノクローム	
トイフォト	
ジオラマ	
クロスプロセス	
ジェントルセピア	
ドラマチックトーン	
リーニュクレール	

画像の色合いを調整する(ホワイトバランス)

ホワイトバランス(WB)は白いものを白く写すための機能です。通常は[AUTO](オート)で問題ありませんが、適切な白にならない場合や、逆に色合いを出したい場合は光源に合わせて、[AUTO]以外のホワイトバランスを手動で設定します。

- 1 ライブコントロールを表示して、 Δ / ∇ でホワイトバランスを選択します。
- 2 \triangleleft / \triangleright で項目を選択し、 \odot ボタンを押します。



WB モード		設定される色温度	適した撮影シーン
オート ホワイトバランス	AUTO	—	一般的なほとんどの撮影シーン(画面内に白に近い色が存在する撮影シーン)。通常はこのモードをお使いください。
プリセット ホワイトバランス		5300K	晴天の日に屋外で撮るとき、夕焼けを赤く撮るとき、花火を撮るとき
		7500K	晴天の日に屋外の日陰で撮るとき
		6000K	曇天の日に屋外で撮るとき
		3000K	電球に照らされている被写体を撮るとき
		4000K	蛍光灯に照らされている被写体を撮るとき
		—	水中で撮るとき
		5500K	フラッシュ撮影のとき
ワンタッチ ホワイトバランス (P. 44)		ワンタッチホワイトバランスで設定した色温度	白かグレーの測定できる被写体があり、特性のわからないフラッシュや光源のときや、光源が複数あって特定できないとき
カスタム ホワイトバランス	CWB	2000K ~ 14000K	INFOボタンを押した後、 \triangleleft / \triangleright で色温度を選択し、 \odot ボタンを押します。

ワンタッチホワイトバランスの設定

撮影する光源下で白い紙などにカメラを向けて、ホワイトバランスを測定します。自然光だけでなく、複数の異なる色温度の光源に照らされた撮影に有効です。

- 1 [Q1]または[Q2]（ワンタッチホワイトバランス1または2）を選択します。
- 2 白かグレーのように無彩色の紙にカメラを向け、INFOボタンを押します。
 - 紙が画面いっぱいに写るようにカメラを構えます。影の部分ができないようにしてください。
 - ワンタッチホワイトバランス画面が表示されます。
- 3 [実行]を選択して[OK]ボタンを押します。
 - ホワイトバランスがプリセットホワイトバランスの1つとしてカメラに登録されます。
 - 新しいワンタッチホワイトバランスを撮影するまで、カメラに記憶されます。電源を切っても消去されません。



こんなときは

- 明るすぎる、暗すぎる、極端な色味の場合は【不適切なデータです 撮り直してください】と表示され登録できません。撮影条件を変えて、手順1からやりなおしてください。

アスペクト比を設定する

撮影時のアスペクト比（横×縦）を変更します。撮影目的に応じた縦横比を【4:3】（基準）/【16:9】 / 【3:2】 / 【1:1】から選びます。

- 1 ライブコントロールを表示して、△▽でアスペクト比設定を選択します。
- 2 ◀▶でアスペクト比を選択して、[OK]ボタンで確定します。

注意

- JPEG形式の画像は、アスペクト比に応じてトリミングされて保存されますが、RAW画像はトリミングされずに、撮影時のアスペクト比情報が付加された状態で記録されます。
- RAW画像再生時は、アスペクト比に応じた枠が表示されます。

画質を選択する(画質モード)

静止画とムービーの画質モードを設定します。パソコンでの加工やホームページでの使用など用途に応じて選べます。

- 1 ライブコントロールを表示して、 Δ / ∇ で静止画またはムービーの画質モードを選択します。
- 2 \triangleleft / \triangleright で項目を選択して \odot ボタンを押します。



画質モード

■ 静止画の画質モード

選択可能な画質モードはRAWとJPEG (L/F/M/N/S)です。RAW+JPEGの場合、RAWとJPEGの2種類の画像を同時に記録します。JPEGは画像サイズ(L/M/S)と圧縮率(SF/F/N/B)の組み合わせからできています。組み合わせはカスタムメニューの【画質設定】で変更できます。

画像サイズ		圧縮率				用途
サイズ名	ピクセルサイズ	SF (Super Fine)	F (Fine)	N (Normal)	B (Basic)	
L (Large)	3968×2976*	L SF	L F*	L N*	L B	プリントサイズに合わせて選択
M (Middle)	3200×2400	M SF	M F	M N*	M B	
	2560×1920*					
	1920×1440					
S (Small)	1600×1200	S SF	S F	S N*	S B	小さいプリントやホームページ用
	1280×960*					
	1024×768					
	640×480					

* 初期設定

RAW画像とは

写真にする前の未加工の状態で、撮影後に絵作りをしたり、念のために保存しておくためのデータ(拡張子「.ORF」)です。他のカメラや一般のソフトウェアでの再生・表示、プリント予約はできません。このカメラでJPEGにすることができます。[Fn]「画像編集」(P. 59)

■ムービーの画質モード

画質モード	ピクセルサイズ	コマ数	記録形式	用途
Full HD	1920×1080	30p	MOV ^{*1}	テレビなどでの鑑賞
HD	1280×720	30p		

- 使用するカードによっては、最長時間まで記録されずに途中で撮影が終了する場合があります。

*1 1ファイルは4GBまたは、最長29分に制限されます。

フラッシュの発光量を調節する(フラッシュ発光量補正)

フラッシュの光で被写体が白く飛んでしまったり、全体的にはちょうどよい明るさなのに被写体だけが暗い写真になってしまうときにフラッシュの発光量を調整します。

1 ライブコントロールを表示して、△▽でフラッシュ補正を選択します。

2 ◀▶で項目を選択し、OKボタンを押します。



⚠ 注意

- 専用外部フラッシュの調光モードがMANUALのときは、この設定は動きません。
- 専用外部フラッシュで発光補正されていると、カメラの発光補正量に加算されて働きます。

明るさを測る方法を選ぶ(測光)

カメラが被写体の明るさを測定する方法を変更します。

- 1 ライブコントロールを表示して、△▽で測光を選択します。



- 2 ◀▶で項目を選択してⓄボタンを押します。

ESP測光	撮影シーンや顔([Ⓞ顔優先]が[LOFF]以外のとき)などを考慮し最適な露出値を演算します。通常はこのモードをおすすめします。
中央重点平均測光	画面の中央部に重点を置いて、画面全域を平均測光します。
スポット測光	測光したいポイントにカメラを向け、狭い範囲の明るさを測光するときに使います。測光した箇所が適正な明るさになります。
スポット測光ハイライトコントロール	スポット測光したポイントがより明るくなります。明るいところを明るく表現します。
スポット測光シャドウコントロール	スポット測光したポイントがより暗くなります。暗いところを暗く表現します。

- 3 シャッターボタンを半押しします。

- 通常は、半押しで測光を開始し、半押ししている間は露出がロックされます。

ピントの合わせ方を設定する(AF方式)

ピント合わせの方法(フォーカスモード)を選択します。

1 ライブコントロールを表示して、△▽でAF方式を選択します。

2 ◀▶で項目を選択し、OKボタンを押します。

- 選択したAF方式が画面に表示されます。



S-AF (シングルAF)	シャッターボタンを半押しすると1回だけピント合わせを行います。ピントが合うと、ピピッと音がして、画面に合焦マークとAFターゲットが点灯します。静物や動きの激しくない被写体を撮影するのに適しています。
スーパーマクロ	被写体に1cmまで接近して撮影できます。
C-AF (コンティニユアスAF)	シャッターボタンを半押ししている間、ピント合わせを繰り返します。被写体にピントが合うと、画面に合焦マークが点灯します。また、1回目の合焦時には、ピピッと音がします。撮影距離が絶えず変化する被写体の撮影に適しています。
C-AF+TR (追尾AF)	シャッターボタンの半押しでピントの合った被写体を、半押ししている間追尾してピント合わせの動作を繰り返します。 <ul style="list-style-type: none">• 追尾被写体を見失うと、AFターゲットが赤く表示されます。シャッターボタンを離して、もう一度被写体に合わせてシャッターボタンを半押ししてください。
MF (マニュアルフォーカス)	任意の位置に手でピントを合わせることができます。OKボタンを長押ししてから、サブダイヤルまたは△▽でピントを調整します。

❗ 注意

- スーパーマクロ撮影のときは、フラッシュ (P. 29)とズーム(P. 15)は設定できません。ズームは自動的に固定されます。
- 明るさが不足している、霧などで被写体がはっきり見えないなど、被写体のコントラストが弱い場合はピントが合わないことがあります。

📌 メモ

- [Qレバー機能]で[MF]を選び、撮影待機でレバーをオンにすると、コントロールリングでピントを合わせることができます。

感度を変更する(ISO感度)

ISO感度の数値を大きくするとノイズ(ざらつき)が大きくなりますが、暗いところでの撮影が可能になります。通常は、撮影状況に応じて感度が変わる[AUTO]のご使用をおすすめします。

- 1 ライブコントロールを表示して、△▽でISO感度を選択します。
- 2 ◀▶で項目を選択し、OKボタンを押します。

AUTO	撮影状況に応じて自動的に感度が変わります。
100 ~ 12800	ISO感度を選択できます。

顔優先AF / 瞳検出AFを使う

カメラが自動的に人物の顔を検出して、ピント合わせやESP測光の調整を行います。

- 1 ライブコントロールを表示して、△▽で顔優先を選択します。
- 2 ◀▶で設定を選択して、OKボタンを押します。



OFF	顔優先Off	顔優先AFを行いません。
☺	顔優先On	顔優先AFを行います。
☺	顔・瞳優先On	近いほうの瞳を検出して顔優先AFを行います。
☺	顔・瞳(右側)優先On	被写体の右側の瞳を検出して、顔優先AFを行います。
☺	顔・瞳(左側)優先On	被写体の左側の瞳を検出して、顔優先AFを行います。

- 3 カメラを被写体に向けます。
 - 顔が検出されたら白い枠が表示されます。
- 4 シャッターボタンを半押しして、ピントを合わせます。
 - 枠の顔にピントが合うと、枠が緑に変わります。
 - 被写体の目を検出できるときは、設定されたほうの目にピントが合い緑の枠が表示されます。(瞳検出AF)



5 シャッターボタンを全押します。

⚠ 注意

- 連写中は最初の1コマのみ顔優先機能が働きます。
- 被写体によっては、顔が検出できないことがあります。
- [ESP (ESP測光)]以外の測光モードを選択しているときは、その位置で測光します。

📌 メモ

- [MF]でも顔の検出ができます。顔を検出すると白い枠が表示され、その位置で測光します。

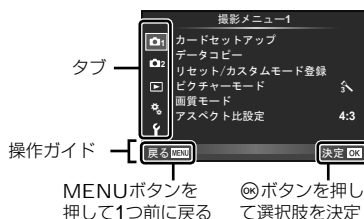
3

メニューを使う

メニューでは、ライブコントロールなどに表示されない撮影／再生時の機能やカメラを使いやすくカスタマイズできる機能を設定します。

	撮影前の準備と基本的な撮影設定
	一歩進んだ撮影設定
	再生や編集に関する設定
	カメラのカスタマイズの設定(P. 63)
	日付や言語などのカメラ設定

1 MENUボタンを押し、メニューを表示させます。

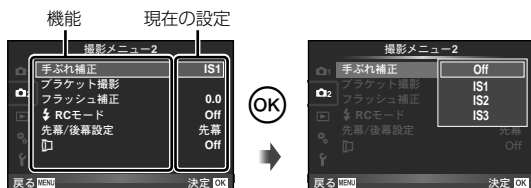


3

便利な機能とカスタマイズ

2 △▽でタブを選択し、OKボタンを押します。

3 △▽で機能を選択しOKボタンを押して、各設定画面に進みます。



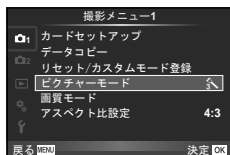
4 △▽で設定値を選択しOKボタンを押して、設定内容を確認します。

- 繰り返しMENUボタンを押し、メニューを終了します。

メモ

- 各機能の初期設定については、「メニュー一覧」(P. 93)をご覧ください。
- 機能を選択すると、約2秒後にガイドが表示されます。INFOボタンを押すと、ガイドの表示/非表示を切り換えることができます。

■ 撮影メニュー 1 / 撮影メニュー 2



- 📷 カードセットアップ(P. 52)
- 📷 データコピー (P. 52)
- 📷 リセット/カスタムモード登録(P. 53)
- 📷 ピクチャーモード(P. 42)
- 📷 画質モード(P. 45)
- 📷 アスペクト比設定(P. 44)
- 📷 手ぶれ補正(P. 41)
- 📷 ブラケット撮影(P. 56)
- 📷 フラッシュ補正(P. 46)
- 📷 RCモード(P. 57)
- 📷 先幕/後幕設定(P. 57)
- 📷 □ (コンバージョンレンズ) (P. 58)

データを完全に消去する(カードセットアップ/メモリセットアップ)

初期化すると、プロテクトをかけた画像を含むすべてのデータは消去されます。初期化するときは、大切なデータが記録されていないことを確認してください。

- 他のカメラやパソコンで初期化したカードを使用する場合は、必ずこのカメラで初期化しなおしてください。
- 内蔵メモリを初期化するときは、カードを取り出しておいてください。

1 📷 撮影メニュー 1 (P. 93)で、[カードセットアップ]を選択します。

2 [カード初期化]を選択します。



3 [実行]を選択して、**OK** ボタンを押します。

- 初期化が実行されます。

内蔵メモリからカードへ画像をコピーする(データコピー)

内蔵メモリの画像データをカードにコピーします。

1 📷 撮影メニュー 1 (P. 93)で、[データコピー]を選択します。

2 [実行]を選択します。

- [データコピー]を中止するには[中止]を選択します。

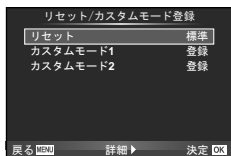
カメラを初期値にセットする(リセット/カスタムモード登録)

カメラの設定を登録済みの設定値に簡単に変更できます。2つの方法があります。

■ リセット操作

工場出荷時の設定に戻します。

- 1 撮影メニュー1で、[リセット/カスタムモード登録]を選択します。
- 2 [リセット]を選択し、**OK**ボタンを押します。
 - [リセット]を選択してから**▶**を押すと、リセットの種類を選べます。日付や言語など一部を除いた設定値をリセットする場合は、[フル]を選び**OK**ボタンを押します。☞「メニュー一覧」(P. 93)
- 3 [実行]を選択し、**OK**ボタンを押します。



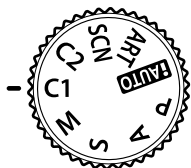
■ [カスタムモード登録]

撮影設定をあらかじめ保存しておき、その設定を呼び出して撮影することができます。撮影モードは変わりません。2つまでの登録が可能です。

- 1 登録したい状態にカメラを設定します。
- 2 撮影メニュー1で、[リセット/カスタムモード登録]を選択します。
- 3 登録先([カスタムモード1] ~ [カスタムモード2])を選択し、**▶**を押します。
 - すでに登録している場合、[カスタムモード1] ~ [カスタムモード2]に[登録]と表示されます。もう一度[登録]を選択すると、登録内容が上書きされます。
 - 登録を解除する場合は[クリア]を選択します。
- 4 [登録]を選択し、**OK**ボタンを押します。
 - [カスタムモード登録]に登録できる機能 ☞「メニュー一覧」(P. 93)


登録した設定を呼び出す

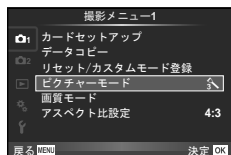
モードダイヤルを**C1**にすると[カスタムモード1]に登録した設定を、**C2**にすると[カスタムモード2]に登録した設定を呼び出すことができます。



















画像の仕上がりを設定する(ピクチャーモード)

画像の色調を選択することができます。また個別に、コントラストやシャープネスなどの画像パラメータを微調整することもできます。調整したパラメータは仕上がり項目ごとに記憶されます。

- 1  撮影メニュー 1で、[ピクチャーモード]を選択します。



- 2 Δ / ∇ で項目を選択して \odot ボタンを押します。

 Vivid	色鮮やかに仕上げます。
 Natural	自然な色合いに仕上げます。
 Flat	素材性を重視した仕上がりになります。
 Portrait	肌色をきれいに仕上げます。
 モノトーン	モノクロ調に仕上げます。
 ポップアート	アートフィルターの設定になります。さらにそれぞれのアートエフェクト機能が使えます。
 ファンタジックフォーカス	
 デイドリーム	
 ライトトーン	
 ラフモノクローム	
 トイフォト	
 ジオラマ	
 クロスプロセス	
 ジェントルセビア	
 ドラマチックトーン	
 リーニユクレール	

3 各項目でさらに▷を押すと、各項目のパラメータを調整できます。


		↕ ~ ↕	Ⓜ
コントラスト	明暗の差	○	○
シャープネス	鮮鋭さ	○	○
彩度	色の鮮やかさ	○	×
階調	画像の階調を調整します。	○	○
オート	画像を細かい領域にわけて部分的に明るさを補正します。黒つぶれ・白とびの起きやすい明暗さの大きい画像に有効です。		
標準	通常は [標準] に設定してください。		
ハイキー	明るい被写体に適した階調にします。		
ローキー	暗い被写体に適した階調にします。		
フィルター効果 (モノトーンのみ)	フィルター色と同じ色を明るく、補色を暗くした白黒画像にします。	×	○
N:無し	通常の白黒画像になります。		
Ye:黄	自然な青空にくっきりとした白い雲が再現されます。		
Or:オレンジ	青空らしさ・夕日の輝きが少し強調されます。		
R:赤	青空らしさ・紅葉の輝きがよりいっそう強調されます。		
G:緑	赤い唇・緑の葉がよりいっそう強調されます。		
調色 (モノトーンのみ)	白黒画像に色味をつけます。	×	○
N:無し	通常の白黒画像になります。		
S:セピア	セピア		
B:青	青味		
P:紫	紫味		
G:緑	緑味		

❗ 注意

- **[標準]**以外の階調ではコントラスト調整は反映されません。

画質を選択する(画質モード)

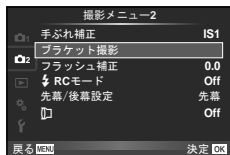
画質モードを設定します。静止画とムービーそれぞれの画質モードを設定しておくことができます。**[ライブコントロール]**の**[画質モード]**と同じです。

- JPEG画像の画像サイズと圧縮比の組み合わせ、**[M]**、**[S]**のピクセルサイズは変更することができます。**[画質設定]**、**[ピクセルサイズ]**  「静止画の画質モード」(P. 45)

条件を少しずつ変化させて撮影する(ブラケット撮影)

1コマごと、または同時に異なる設定の撮影を自動的に行う方法をブラケット撮影といいます。ブラケット撮影は**P**、**A**、**S**、**M**モードでのみ設定できます。

- 1 撮影メニュー2で、**[ブラケット撮影]**を選択します。



- 2 ブラケット撮影の種類を選択します。

- ブラケット撮影をするには、撮影画面で ボタン(▽)を押して**[BKT]**を選択します。



AE BKT (AEブラケット撮影)

1コマごとに露出を変えて撮影するAEブラケット撮影の設定を行います。補正量を0.3EV、0.7EV、1.0EVから選択します。シャッターボタンを全押ししている間に、適正露出、-補正、+補正の順番で撮影します。撮影枚数：2枚／3枚



- **P**モードでは、絞り値とシャッター速度、**A**および**M**モードではシャッター速度、**S**モードでは絞り値を制御して補正を行います。
- 露出補正を行っている場合、すでに補正されている値を中心としたAEブラケット撮影が行われます。

WB BKT (WBブラケット撮影)

1回の撮影で、1つの補正方向に対して色合い(ホワイトバランス)を変えた3枚の画像を自動的に作成します。カメラの設定で撮影された画像、その画像から色合いを変更した画像の順番で記録されます。



- 補正する方向**A-B** (赤-青)、および**G-M** (緑-赤紫)のそれぞれのステップを2ステップ、4ステップ、6ステップから選択します。
- ホワイトバランスの補正を行っている場合、すでに補正されている値を中心としたWBブラケット撮影が行われます。
- WBブラケット撮影では、カメラのメモリとカードに設定枚数以上の空きがないと撮影できません。

FL BKT (FLブラケット撮影)

1コマごとにフラッシュの発光量を変えて撮影するフラッシュブラケット撮影の設定を行います。シャッターボタンを全押ししている間に、適正発光量、-発光量、+発光量の順番で3コマを撮影します。



ISO BKT (ISOブラケット撮影)

撮影時のシャッター速度と絞り値を固定したまま、1コマごとにISO感度を変えて撮影するISOブラケット撮影の設定を行います。補正量を0.3EV、0.7EV、1.0EVから選択します。1回の撮影で、ISO感度を設定したISO感度(オート設定時は適正ISO) -補正、+補正の順番で3コマを撮影します。

- **[ISOオート設定]**で設定した上限値とは関係なくブラケット撮影が行われます。
 ④ 「カメラをカスタマイズする」(P. 63)



ART BKT (アートフィルターブラケット撮影)

1回の撮影でアートフィルターを施した複数の画像を残せます。使用するピクチャーモードごとにOn/Offを設定しておきます。

- 撮影後の画像の記録に時間がかかる場合があります。



ワイヤレスRCフラッシュ撮影(⚡ RCモード)

内蔵フラッシュとRCモード機能付き専用フラッシュを使ってワイヤレスフラッシュ撮影ができます。④ 「ワイヤレスRCフラッシュ撮影」(P. 91)

フラッシュ発光のタイミングを設定する(先幕/後幕設定)

フラッシュ発光のタイミングを設定できます。**[先幕]**にするとシャッターが開いた直後に発光し、**[後幕]**にするとシャッターが閉じる直前に発光します。**[後幕]**で撮影すると、動く被写体の後方に流れる光跡を写し込むことができます。

コンバージョンレンズを使って撮る(口)

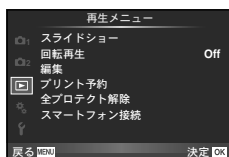
Off	カメラ本体だけで撮影する。
TCON-17	別売の専用コンバージョンレンズを取り付けて撮影する。

ⓘ 注意

- コンバージョンレンズを取り付けると、内蔵フラッシュの光はけられず(コンバージョンレンズの影が画面に写ります)。
- コンバージョンレンズを取り付けると、ピント合わせに時間がかかることがあります。
- コンバージョンレンズを取り付けるには、コンバージョンレンズアダプタCLA-12 (別売)をご使用ください。

3

再生メニュー



スライドショー (P. 37)

回転再生 (P. 59)

編集 (P. 59)

プリント予約 (P. 75)

全プロテクト解除 (P. 60)

スマートフォン接続 (P. 61)

3

便利な機能とカスタマイズ

画像を回転して再生する(回転再生)

設定が[On]のとき、縦位置で撮影した画像が自動的に回転して再生されます。

画像編集


撮影した画像を編集して別の画像として保存します。

1 再生メニューで[編集]を選び \odot ボタンを押します。

2 \triangleleft で編集する画像を選択し、 \odot ボタンを押します。

- RAW画像の場合は[RAW編集]、JPEG画像の場合は[JPEG編集]が表示されます。RAW+JPEGで記録した画像は、メニューに両方が表示されますので、編集したいほうのメニューを選びます。

3 [RAW編集]または[JPEG編集]を選択して \odot ボタンを押します。

RAW編集	設定に合わせて編集したJPEG画像を作ります。現在のカメラの設定に応じた処理がされます。あらかじめカメラの設定をしておきます。
JPEG編集	次の編集が可能です。 【階調オート】：逆光時に暗く写った被写体を明るくします。 【赤目補正】：フラッシュ撮影で目が赤く写った部分を軽減させます。 【トリミング】：サブダイヤルでトリミングサイズ、 \triangle ∇ \triangleleft でトリミング位置を指定します。  【アスペクト】：アスペクト比が4:3(基準)の画像のアスペクト比を[3:2] / [16:9] / [1:1]に変更します。アスペクト比変更後、 \triangle ∇ \triangleleft でトリミング位置を指定します。 【リサイズ】：画像サイズを1280 × 960、640 × 480、または320 × 240に変換します。アスペクト比が4:3(基準)以外の画像は編集できません。 【eポートレート】：なめらかな肌に補正します。 顔が検出できないなど、画像によっては補正できない場合があります。

4 設定を完了したら \odot ボタンを押します。

- 画像に設定が反映されます。

5 [実行]を選択して \odot ボタンを押します。

- 編集された画像が記録されます。

ⓘ 注意

- ムービーの編集はできません。
- 画像によっては赤目補正できないことがあります。
- 次の場合はJPEG編集できません。
RAWで記録した画像 / パソコンで編集した画像 / カードの空き容量が不足している場合 / 他のカメラで撮影した画像
- [リサイズ]では、撮影時の画像サイズより大きなサイズには設定できません。
- [トリミング] / [アスペクト]は、アスペクト比が4:3 (基準)の画像のみ編集できます。

音声録音

静止画に音声を録音します(最長4秒)。

画像再生時の[録音]と同じ機能です。(P. 36)

全プロテクト解除

プロテクトされている画像を一度に解除できます。

1 \square 再生メニューで[全プロテクト解除]を選択します。

2 [実行]を選択し、 \odot ボタンを押します。

スマートフォン接続機能を使う(スマートフォン接続)

市販のFlashAirカードを使ってWi-Fi接続が可能なスマートフォンやPCから直接、画像の閲覧や転送ができます。他のカメラなどで設定されたFlashAirは初期化してから使ってください。📷 「カードについて」(P. 88)

接続の設定をする

- 1 ▶再生メニューで[スマートフォン接続]を選択してⓄボタンを押します。
- 2 [接続用設定]を選択してⓄボタンを押します。
- 3 [ネットワークSSID]を入力してⓄボタンを押します。
 - FlashAirカードの識別用の名称になります。接続する機器からこのカードを識別するための名前になります。
- 4 パスワードを入力してⓄボタンを押します。
 - 他の機器から接続する際のパスワードになります。8文字から63文字の範囲で設定します。
 - 「初期設定が完了しました」と表示され、設定が完了されます。

接続する

- 1 ▶再生メニューで[スマートフォン接続]を選択してⓄボタンを押します。
- 2 接続方法を選択してⓄボタンを押します。
 - [プライベート接続]: 毎回、設定済みのパスワードを使って接続します。
 - [ワンタイム接続]: 1度の接続でのみ有効なパスワードを使って接続します。パスワードを設定してⓄボタンを押します。
- 3 接続する機器でこのFlashAirをアクセスポイントに選択して接続します。
 - アクセスポイントへの接続方法は、それぞれの機器の取扱説明書でお確かめください。
 - パスワードを求められたらカメラで設定したパスワードを入力します。
- 4 接続した機器でインターネットブラウザを起動して、アドレスに <http://FlashAir/> と入力します。
 - 接続中はカメラは自動的にオフにはなりません。

接続を終了する

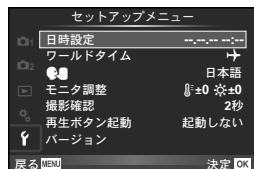
- 1 ▶再生メニューで[スマートフォン接続]から[停止する]を選択してⓄボタンを押します。

設定を変更する


[スマートフォン接続]から[接続用設定]を選択して、[ネットワークSSID]
[パスワード設定]を選択して設定します。

■ セットアップメニュー

セットアップメニューでは、カメラの基本的な機能を設定します。



3 便利な機能とカスタマイズ

メニュー項目	説明	
日時設定	<p>日時を設定します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) $\Delta \nabla$で[年]を選ぶ。 2) \trianglerightを押して[年]を確定する。 3) 手順1,2と同様に、$\Delta \nabla \triangleleft \triangleright$で[月]、[日]、[時刻] (時、分)、[年/月/日] (日付の順序)を設定したら、\odotボタンを押す。 <ul style="list-style-type: none"> • [分]を設定中に0秒の時報に合わせて\odotボタンを押すと、正確に時刻を合わせることができます。 	12
ワールドタイム	自宅と訪問先を設定して、日時表示を切り換えることができます。	94
 (言語切り換え)	モニターのメニュー表示やエラーメッセージを、日本語以外の言語に設定できます。	—
モニタ調整	<p>モニターの明るさと色温度を調整します。色温度の調整は再生時のモニター表示に適用されます。</p> <p>$\triangleleft \triangleright$で$\text{f}$ (色温度)とsun (明るさ)を切り換え、$\Delta \nabla$で設定値を選びます。INFOボタンを押すたびにモニター表示の彩度が[Natural]と[Vivid]で切り換わります。</p>	—
撮影確認	<p>撮影後に画像を自動的に表示するかどうかを設定します。また、表示する時間も設定できます。撮影した画像の簡単なチェックに便利です。撮影確認中でもシャッターボタンを半押しするとすぐに次の撮影に入れます。</p> <p>[1秒] ~ [20秒]：画像を表示する時間を指定します。1秒刻みで設定することができます。</p> <p>[Off]：記録中の画像は表示されません。</p> <p>[Auto]：記録中の画像を表示し、そのまま再生モードに切り換わります。画像を確認した後、消去したいときに便利です。</p>	—
再生ボタン起動	<p>[起動する]：\squareを長押しすると電源が入り、再生モードで起動します。</p> <p>[起動しない]：電源は入りません。電源を入れるときはON/OFFボタンを押してください。</p>	94
バージョン	カメラや接続しているアクセサリーのファームウェアバージョンを表示します。お問い合わせいただくときやソフトウェアをダウンロードする場合に確認できます。	—

カスタムメニューを使う

カスタムメニューやアクセサリメニューを使ってカメラをカスタマイズすることができます。*カスタムメニューではカメラの機能の詳細な設定ができます。

カスタムメニュー

- A** AF/MF (P. 64)
- B** ボタン/ダイヤル/レバー (P. 64)
- C** 接続/音 (P. 65)
- D** 表示 (P. 65)
- E** 露出/測光/ISO (P. 66)
- F** フラッシュ (P. 66)
- G** 画質/色/WB (P. 66)
- H** 記録 (P. 67)
- I** 動画 (P. 68)
- J** その他 (P. 69)



■ カスタムメニュー

📌 AF/MF

MENU → * → 📌

メニュー項目	説明	📌
AF方式	AFの方式を選択できます。	48
AFターゲット選択	AFターゲットモードを選択します。	31
📌 Home登録	ホームポジションとして使うAFターゲットの位置を登録します。ホームポジションが登録中の場合、AFターゲット選択の画面で📌が表示されます。	—
AFイルミネータ	[Off]にするとAF補助光を発光しません。	—
📌顔優先	人物の顔や瞳を優先してAFします。	49
MFアシスト	[On]に設定すると、マニュアルフォーカス時にコントロールリングを回したとき、自動的に画像を拡大表示します。	—

📌 ボタンダイヤル/レバー

MENU → * → 📌

メニュー項目	説明	📌
ボタン機能	各ボタンに機能の登録ができます。	—
📌1 ボタン機能	Off / AEL / プレビュー / ワンタッチWB / 📌 Home / デジタルテレコン / コンバージョンレンズ / NDフィルター設定	70
📌2 ボタン機能	手ぶれ補正 / ピクチャーモード / SCN / ART / WB / 📌 / 📌 / アスペクト / 📌 画質モード / 📌 画質モード / フラッシュ / フラッシュ補正 / 測光 / AF方式 / ISO / 📌 顔優先 / NDフィルター設定	70
ダイヤル機能	コントロールリングとサブダイヤルの機能を変更できます。	94
📌レバー機能	レバーをオンにしたときに、コントロールリングで使う機能を[MF]、[ズーム]、[MF/ズーム]の中から選択できます。	94
ダイヤル方向	シャッター速度や絞り値の増減方向、カーソルの移動方向を切り換えます。	94
📌ロック	[On]にすると、撮影画面での▶ボタン、▽ボタン、サブダイヤルの操作を無効にします。撮影画面でFn2を押しながらFn1を押すことでも、[📌ロック]の設定/解除ができます。	—

3

便利な機能とカスタマイズ

メニュー項目	説明	📺
HDMI	[HDMI出力] ：HDMIケーブルでテレビに接続するときのデジタルビデオ信号形式を選択します。 [HDMIコントロール] ： [On] にするとHDMIコントロール対応テレビのリモコン操作を許可します。	61, 71, 72
ビデオ出力	各国のテレビ映像信号に合わせて、 [NTSC] または [PAL] を選択します。日本は [NTSC] です。	71
電子音	ピントが合ったときに鳴るピピッと音の大きさを調節できます。音を鳴らさないようにするには、 0 に設定します。	—
再生音量	再生時のスピーカーの音量を調節できます。	17, 35
USB接続モード	カメラをパソコンやプリンタに接続するときの方式を選択します。 [オート] では機器に接続するたびにメニューが表示されます。	—

メニュー項目	説明	📺																																		
📺/Info表示設定	INFOボタンを押したときに表示する情報画面の表示/非表示を設定します。 [📺Info] ：再生情報画面の設定 [LV-Info] ：撮影情報画面の設定 [📺表示] ：インデックス表示	74																																		
表示罫線選択	モニターに罫線を表示します。 [方眼] 、 [黄金分割] 、 [目盛] 、 [対角線] の中から選択できます。	74																																		
📷Control表示	操作画面の表示/非表示を、撮影モードごとに設定できます。 <table border="1" style="width: 100%; border-collapse: collapse;"> <thead> <tr> <th rowspan="2">操作画面</th> <th colspan="4">撮影モード</th> </tr> <tr> <th>📷AUTO</th> <th>P/A/S/M</th> <th>ART</th> <th>SCN</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>LVコントロール(P. 40)</td> <td>On/Off</td> <td>On/Off</td> <td>On/Off</td> <td>On/Off</td> </tr> <tr> <td>スーパーコンパネ(P. 73)</td> <td>On/Off</td> <td>On/Off</td> <td>On/Off</td> <td>On/Off</td> </tr> <tr> <td>ライブガイド(P. 84)</td> <td>On/Off</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>ARTメニュー</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>On/Off</td> <td>—</td> </tr> <tr> <td>SCNメニュー</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>—</td> <td>On/Off</td> </tr> </tbody> </table>	操作画面	撮影モード				📷AUTO	P/A/S/M	ART	SCN	LVコントロール(P. 40)	On/Off	On/Off	On/Off	On/Off	スーパーコンパネ(P. 73)	On/Off	On/Off	On/Off	On/Off	ライブガイド(P. 84)	On/Off	—	—	—	ARTメニュー	—	—	On/Off	—	SCNメニュー	—	—	—	On/Off	72
操作画面	撮影モード																																			
	📷AUTO	P/A/S/M	ART	SCN																																
LVコントロール(P. 40)	On/Off	On/Off	On/Off	On/Off																																
スーパーコンパネ(P. 73)	On/Off	On/Off	On/Off	On/Off																																
ライブガイド(P. 84)	On/Off	—	—	—																																
ARTメニュー	—	—	On/Off	—																																
SCNメニュー	—	—	—	On/Off																																
ピクチャーモード表示	ライブコントロールやスーパーコンパネでピクチャーモードの設定をするとき、選択したピクチャーモードだけを表示します。	—																																		
ヒストグラム警告設定	[ハイライト表示] ：ハイライト表示の下限値を設定します。 [シャドウ表示] ：シャドウ表示の上限値を設定します。	74																																		
LVブースト	[On] にすると、モニターに露出補正などの撮影条件を反映せず、画像が見えることを優先して表示します。	—																																		
スリープ時間	設定した時間の間、カメラを操作しないと、省電力モード(スリープモード)になります。シャッターボタンの半押しで解除されます。	—																																		

露出/測光/ISO

MENU → * →

メニュー項目	説明	
測光	撮影シーンに応じて測光方式を変更できます。	47
[+]+測光連動	[On]にすると、選択したAFターゲットを中心に測光します。	31
長秒時ノイズ低減	長時間露光時に発生するノイズを低減します。 [オート]：長秒時のみノイズ低減処理を行います。 [On]：常にノイズ低減処理を行います。 [Off]：ノイズ低減処理を行いません。 <ul style="list-style-type: none"> 処理のために約2倍の撮影時間がかかります。 連写設定時は自動的に[Off]になります。 撮影条件や被写体により効果が出にくい場合があります。 	23
高感度ノイズ低減	高感度撮影時のノイズ低減レベルを選択できます。	—
ISO感度	ISO感度を設定します。	49
ISOオート設定	ISO感度を[オート]に設定したときの上限値と基準値を設定します。 [上限値]：ISO感度の上限を設定します。 [基準値]：通常使用するISO感度を設定します。	—
Bulbリミッター	バルブ撮影の最長時間を設定します。	23

フラッシュ

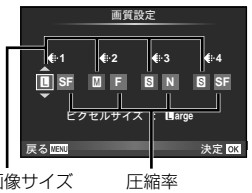

MENU → * →

メニュー項目	説明	
⚡低速制限	フラッシュ発光時の低速側のシャッター速度の制限値を設定できます。	29
[+]+連動	[On]に設定すると、露出補正量に加算してフラッシュ補正が行われます。	—

画質/色/WB

MENU → * →

メニュー項目	説明	
WBモード	ホワイトバランスのモードを選択します。	43
全WBモード補正	[All Set]：[CWB]以外のすべてのWBモードで同じ補正値を適用します。 [All Clear]：[CWB]以外のすべてのホワイトバランス補正値を0にします。	—
WBオート 電球色残し	[Off]にすると電球色の色味を残しません。	—
⚡+WB連動	フラッシュ発光時のホワイトバランスの設定を選択できます。	—
カラー設定	撮影した画像をモニターやプリンタで再現する際、色再現を正しく行うための方式を選択します。	—

メニュー項目	説明	設定値
画質設定	<p>JPEGの画質モードを変更できます。3種類の画像サイズと4種類の圧縮率の組み合わせから選択します。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) <>で[←1]～[←4]の画像サイズと圧縮率を選択し、△▽で値を変更します。 2) 決定ボタンを押すと設定されます。 	45, 55, 90
ピクセルサイズ	<p>画像サイズ[M]、[S]のピクセルサイズを設定できます。</p> <ol style="list-style-type: none"> 1) カスタムメニューの画質タブで[ピクセルサイズ]を選択します。 2) [Middle]または[Small]を選択して、>を押します。 3) ピクセルサイズを変更して、決定ボタンを押すと設定が確定します。 	45

メニュー項目	説明	設定値
ファイルネーム	<p>[オート]：カードを入れ換えても、ファイルNo.は通し番号で付けられます。カード内に重複するファイルNo.がある場合は、最も大きなファイルNo.に続いた番号が付けられます。 [リセット]：新しいカードを入れると、フォルダNo.は100、ファイル名は0001から始まります。すでに画像が記録されたカードでは、最も大きなファイルNo.に続いた番号が付けられます。</p>	—
ファイルネーム編集	<p>画像につくファイル名を変更できます。以下の部分が編集できます。</p> <p>sRGB：Pmdd0000.jpg ————— Pmdd AdobeRGB：_mdd0000.jpg ————— mdd</p>	—
dpi設定	<p>プリントするときの解像度を設定します。</p>	—

メニュー項目	説明	📷
著作権情報*	<p>最大63文字の撮影者／著作権者の名称を画像に付加します。 [著作権情報記録]：[On]を選択すると撮影者／著作権者の名称をExif情報に付加します。 [撮影者入力]：撮影者の名称を入力します。 [著作権者入力]：著作権者の名称を入力します。</p> <ol style="list-style-type: none"> ②の中から文字を選択し、Ⓚボタンを押します。選択した文字は①に表示されます。 手順1)を繰り返し、すべてを入力したら[END]を選択しⓀボタンを押します。 <ul style="list-style-type: none"> 文字を消去するには、INFOボタンでカーソルを①に移動し、消去したい文字を選びます。選択後、もう一度INFOボタンで②に戻り、[Delete]を押します。 	—



* [著作権情報]の使用によって生じたトラブルや損害などについては、当社は一切の責任を持ちません。お客様の責任で使用してください。



メニュー項目	説明	📷
ムービー録音	[Off]を選択すると、ムービー撮影中に音声を録音しないように設定できます。	—
風切り音低減	録音時の風による雑音を低減します。	—

メニュー項目	説明	📷
ピクセルマッピング	撮像素子と画像処理機能のチェックを同時に行います。	88
露出基準調整	適正露出の基準値を測光方式ごとに調整できます。 <ul style="list-style-type: none"> 調整した方向の露出補正範囲が狭くなります。 調整量は撮影画面では確認できません。通常の露出補正を目的とする場合は、露出補正 (P. 28) を行ってください。 	—
水準器調整	水準器の角度のずれを調整できます。 [リセット] : 出荷時の調整値に戻ります。 [キャリブレーション] : 現在のカメラの状態位置を0点とします。	—
タッチパネル設定	モニターに触れてカメラを操作することができます。 [Off] にするとタッチパネルの操作を禁止します。	38
Eye-Fi 設定*	Eye-Fiカードを使用するときには通信を行うかどうかを設定します。	89
m/ft設定	[AF方式] (P. 48) が [MF] のときに、モニターに表示される長さの単位を、m (メートル単位) とft (フィート単位) から選択できます。	—
EVF調整	電子ビューファインダー(別売)の明るさと色温度を調整します。色温度の調整は再生時のモニター表示に適用されます。◀▶で📷 (色温度) と☀ (明るさ) を切り換え、△▽で [+7] ~ [-7] の範囲で調整します。	—





* Eye-Fiカードは使用する国や地域の法律にしたがってお使いください。
 飛行機の中など使用を禁止される場所では、Eye-Fiカードをカメラから取り出すか、**[Eye-Fi 設定]**を**[Off]**にしてください。
 Eye-Fiカードのエンドレスモードには対応しておりません。



■ Fn1 ボタン機能

MENU →  →  → [ボタン機能] → [Fn1 ボタン機能]

Fn1 ボタンに以下の機能を登録することができます。

AEL	ボタンを押すと、露出が固定されます。
プレビュー（電子式）	ボタンを押している間、設定された絞り値まで絞り込みます。
ワンタッチWB	ボタンを押すと、ホワイトバランスの値を取得します（P. 44）。
 Home	ボタンを押すと、 [] Home登録 （P. 64）で登録したAFのホームポジションに切り換わります。ホームポジションのAFには \square マークが表示されます。再度押すと、AFターゲットモードに戻ります。ホームポジションに切り換えた状態で電源をOFFにすると、ホームポジションに切り換える前のAFターゲット位置はリセットされます。
デジタルテレコン	ボタンを押すたびにOnとOffの切り換えができます。
コンバージョンレンズ	装着するコンバージョンレンズを設定します。
NDフィルター設定	NDフィルターの設定をします。
Off	ボタンに機能を割り当てません。

■ Fn2 ボタン機能


MENU →  →  → [ボタン機能] → [Fn2 ボタン機能]

Fn2 ボタンに以下の機能から複数登録できます。

機能を登録するには、それぞれのチェックボックスにチェックを入れます。

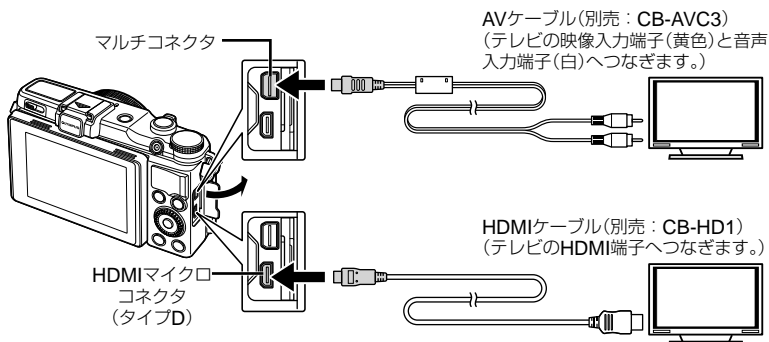
登録した機能は、Fn2 ボタンを押すたびに切り換わります。設定値はコントロールリングで変更できます。

Fn2 ボタンを押しながらコントロールリングを回して、機能を切り換えることもできます。設定値を変更するには、Fn2 ボタンを離してからコントロールリングを回します。

手ぶれ補正	手ぶれ補正の設定ができます。
ピクチャーモード	画像の仕上がりやアートフィルターの設定をします。
SCN	シーンモードを変更できます。
ART	アートフィルターを変更できます。
WB（WBモード）	ホワイトバランスの設定をします。
	連写やセルフタイマーの設定をします。
アスペクト	アスペクト比を設定します。
 画質モード	静止画の画質を設定します。
 画質モード	動画の画質を設定します。
フラッシュ	フラッシュの発光モードの設定をします。
フラッシュ補正	フラッシュの発光量を設定します。
測光	測光方式を設定します。
AF方式	AF方式を設定します。
ISO感度	ISO感度の設定をします。
 顔優先	顔優先の設定をします。
NDフィルター設定	NDフィルターの設定をします。

カメラの画像をテレビで見る

別売のAVケーブルでテレビに接続して画像を再生します。別売のHDMIケーブルを使ってハイビジョン対応のテレビに接続すると、高画質な画像をテレビで観ることができます。




3

便利な機能とカスタマイズ

1 テレビとカメラをケーブルで接続します。

- 使用するテレビの入力設定はあらかじめ合わせてください。
- AVケーブルで接続する場合は、あらかじめカメラのビデオ出力を設定してください。【ビデオ出力】(P. 65)

2 テレビの入力を切り換えます。

- ケーブルを接続するとカメラのモニターは消灯します。
- AVケーブルで接続した場合、 ボタンを押してください。

❗ 注意


- テレビの入力切り換えについては、テレビの取扱説明書をご覧ください。
- テレビの設定によっては、画像や情報表示の一部が欠けて見えることがあります。
- AVケーブルとHDMIケーブルの両方がカメラとテレビに接続されている場合は、HDMIが優先されます。
- HDMIケーブルでテレビに接続するときのデジタルビデオ信号形式を選ぶことができます。テレビの入力設定に合わせて選択してください。

1080i優先	1080iを優先してHDMI出力します。
720p優先	720pを優先してHDMI出力します。
480p/576p	480p/576p形式でHDMI出力します。【ビデオ出力】(P. 65)が【PAL】設定時は576pで再生します。

- HDMIケーブルの接続中は撮影できません。
- 他のHDMI出力機器と接続しないでください。故障の原因となります。
- パソコンやプリンタとのUSB接続中は、HDMI出力は行われません。

テレビのリモコンを使う

HDMIによるコントロールに対応したテレビに接続すると、テレビのリモコンで操作することができます。

1 カスタムメニューの  タブで **[HDMI]** を選択します。

2 **[HDMIコントロール]** を選択し、**[On]** に設定します。

3 テレビのリモコンで操作します。

- テレビに表示された操作ガイドにしたがって操作できます。
- 1コマ再生のときに、リモコンの「赤」ボタンで情報表示の切り換え、「緑」ボタンでインデックス表示への切り換えができます。
- テレビによっては使用できない機能があります。

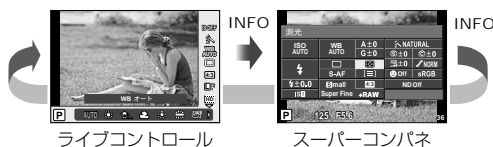
操作パネルの表示を選ぶ(📷Control表示)

撮影モードで機能設定のための操作パネルの表示、非表示を設定します。

IAUTO



P/A/S/M



ARTまたはSCN

アートフィルターメニュー



スーパーコンパネを使う

撮影の設定状態と設定が一覧表示される下の画面をスーパーコンパネと呼びます。十字ボタンまたはタッチ操作で設定します。



■ 使用可能な設定機能

- | | |
|------------------------|-----------------------|
| ① 現在選択している機能 | フィルター効果.....P. 55 |
| ② ISO感度.....P. 49 | 調色.....P. 55 |
| ③ 連写/セルフタイマー.....P. 32 | ⑨ カラー設定.....P. 66 |
| ④ フラッシュモード.....P. 29 | ⑩ 顔優先.....P. 49 |
| ⑤ フラッシュ補正值.....P. 46 | ⑪ 測光方式.....P. 47 |
| ⑥ ホワイトバランス.....P. 43 | ⑫ アスペクト比.....P. 44 |
| ホワイトバランス補正.....P. 95 | ⑬ 画質モード.....P. 45 |
| ⑦ ピクチャーモード.....P. 42 | ⑭ AF方式.....P. 48 |
| ⑧ シャープネス.....P. 55 | AFターゲット.....P. 31 |
| コントラスト.....P. 55 | ⑮ 手ぶれ補正.....P. 41 |
| 彩度.....P. 55 | ⑯ NDフィルター設定.....P. 40 |
| 階調.....P. 55 | |

- スーパーコンパネを表示して、
△▽◀▶でカーソルを設定したい
機能に移動してOKボタンを押し
ます。

カーソル



- または、サブダイヤルを回して設定を選択し
ます。

- ▶で設定を選択して、INFOボタンを押し
ます。

- 必要に応じて、手順1、2を繰り返します。
- 数秒間操作をしないと、その状態で設定が確定します。

- シャッターを半押しして撮影モードに戻り
ます。



情報表示の画面を追加する(☒/Info表示設定)

■ 撮影情報表示

[LV-Info]で以下の撮影情報表示画面を追加できます。追加した画面は、撮影時に**INFO**ボタンを繰り返し押し表示されます。また、初期設定で表示されている画面を非表示にすることもできます。☒ 「カスタムメニューを使う」(P. 65)



ハイライト&シャドウ表示



水準器表示

ハイライト&シャドウ表示

画像の明るさの上限値以上の部分を赤、下限値以下の部分を青で表示します。

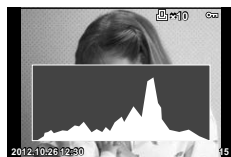
☒ 「ヒストグラム警告設定」(P. 65)

水準器表示

カメラの傾きを表示します。「あおり」方向は縦のバー、「水平」方向は横のバーで表示します。水準器の表示は目安としてお使いください。

■ 再生情報表示

[☒/Info]で以下の再生情報表示画面を追加できます。追加した画面は、画像再生時に**INFO**ボタンを繰り返し押し表示されます。また、初期設定で表示されている画面を非表示することもできます。



ヒストグラム表示



ハイライト&シャドウ表示

[☒表示]でインデックス再生で異なった分割数の画面を表示できます。



1コマ再生

W
→
←
T



4分割

W
→
←
T



9分割、25分割

インデックス再生

4 撮影した画像をプリントする

プリント予約(DPOF)

プリントしたい画像や枚数などをあらかじめ指定しておく、その情報がカードに保存されます。プリント予約した画像は、DPOF対応のプリントショップでプリントしたり、DPOF対応プリンタに直接接続してプリントできます。プリント予約にはカードが必要です。

プリント予約する

- 1 画像を再生中に、**OK** ボタンを押して**[プリント予約]**を選択します。
- 2 **[1コマ予約]**または**[全コマ予約]**を選択し、**OK** ボタンを押します。

1コマ予約の場合

<>を押してプリント予約したいコマを選択し、**△▽**を押してプリントする枚数を設定します。

- 複数の画像をプリント予約する場合は、この手順を繰り返します。予約が終わったら**OK** ボタンを押します。

全コマ予約の場合

[全コマ予約]を選択し、**OK** ボタンを押します。

- 3 日時の種類を選択し、**OK** ボタンを押します。

無し	画像のみプリントされます。
日付	画像と撮影年月日がプリントされます。
時刻	画像と撮影時刻がプリントされます。

- 4 **[予約する]**を選択し、**OK** ボタンを押します。

ⓘ 注意

- 他の機器で予約した内容を、このカメラで変更することはできません。また、このカメラで新たに予約を行うと、他の機器で予約した内容は消去されます。
- RAWデータおよびムービーはプリント予約できません。



プリント予約を選択して解除する／すべて解除する

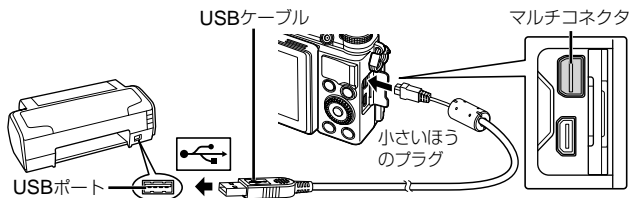
すべてのプリント予約を解除する方法と、選択した画像のプリント予約だけを解除する方法があります。

- 1 画像を再生中に、**OK** ボタンを押して**[プリント予約]**を選択します。
- 2 **[1コマ予約]**を選択し、**OK** ボタンを押します。
 - すべてのプリント予約を解除する場合は、**[解除する]**を選択して、**OK** ボタンを押します。そうでない場合は**[解除しない]**を選択して**OK** ボタンを押します。
- 3 **◀▶**を押してプリント予約を解除したいコマを選択します。
 - **▽**でプリント枚数を0に設定します。すべて解除したら**OK** ボタンを押します。
- 4 日時の種類を選択し、**OK** ボタンを押します。
 - プリント予約の設定が残っている画像に、選択した設定が適用されます。
- 5 **[予約する]**を選択し、**OK** ボタンを押します。

ダイレクトプリント(PictBridge)

カメラをPictBridge対応プリンタにUSBケーブルで接続して、撮影した画像を直接プリントすることができます。

- 1 カメラとプリンタを付属のUSBケーブルで接続し電源を入れます。



- プリントを始める際は、充電した電池をご使用ください。
- カメラの電源を入れると、モニターに接続先を選択する画面が表示されます。画面が表示されないときは、カスタムメニューの**[USB接続モード]** (P. 65)を**[オート]**に設定してください。

- 2 **△▽**で**[プリント]**を選択します。

- **[USBケーブルを抜かないでください]**と表示された後、プリントモード選択画面が表示されます。
- 数分待ってもプリントモード選択画面が表示されないときは、USBケーブルを抜き、手順1からやりなおしてください。



「カスタムプリントでプリントする」(P. 77)へ進む

❗ 注意

- RAWデータおよびムービーはプリントできません。

かんたんプリントでプリントする

この方法でプリントするときは、プリントしたい画像をカメラに表示してから、USBケーブルでプリンタを接続します。

1 ◀▶を押して、プリントする画像をカメラに表示します。

2 ▶を押します。

- プリントが終わると画像選択の画面が表示されます。別の画像をプリントするときは◀▶を押して画像を選択し、⊙ボタンを押します。
- 終了するときは、画像選択の画面が表示された状態でカメラからUSBケーブルを抜きます。



カスタムプリントでプリントする

1 操作ガイドにしたがってプリントの各設定をします。

プリントモードを選択する

プリントの種類(プリントモード)を選びます。選択できるプリントモードは、以下の通りです。

プリント	選択した画像をプリントします。
全コマプリント	カードの中の全画像をプリントします。
マルチプリント	1枚の用紙に同じ画像を複数レイアウトして、プリントします。
全コマインデックス	カード内の全画像を一覧にして、インデックス形式でプリントします。
予約プリント	プリント予約の内容にしたがってプリントします。あらかじめプリント予約された画像がないときは、選択できません。

用紙を設定する

この設定内容は、プリンタの対応によって選択肢が異なります。プリンタの標準設定しか使えない場合は、設定を変更することができません。

サイズ	プリンタで用意されている用紙に合わせます。
フチ	用紙いっばいにプリントするか、フチをつけてプリントするかを選択します。
分割数	同じ画像を1枚の用紙に何枚プリントするかを選択します。プリントモードで【マルチプリント】を選択すると、この設定項目が表示されます。

プリントする画像を選ぶ

プリントする画像を選びます。選んだ画像を後でまとめてプリント(1枚予約)したり、表示している画像をプリントすることができます。



プリント(OK)	表示している画像をプリントします。【1枚予約】をした画像が1枚でもあると、予約されている画像のみプリントされます。
1枚予約(□)	表示している画像をプリントする予約をします。【1枚予約】をしたら、◀▶で次に予約したい画像を選んでください。
詳細予約(▽)	表示している画像のプリント枚数や情報、プリントするかどうかを設定します。操作については「プリントする情報を設定する」をご覧ください。

4

撮影した画像をプリントする

プリントする情報を設定する

画像をプリントする際に、日付やファイル名の情報を同時にプリントするかどうかを設定します。【全コマプリント】モードの場合、【オプション設定】を選択すると右の画面が表示されます。

プリント枚数	プリントする枚数を設定します。
日付	画像に記録されている日付情報を同時にプリントします。
ファイル名	画像に記録されているファイル名を同時にプリントします。
トリミング	画像をトリミングしてプリントします。コントロールリングまたはサブダイヤルでトリミングサイズを、△▽◀▶でトリミング位置を指定します。

2 プリントする画像や内容が決まったら、[プリント]を選択し、OKボタンを押します。

- プリントを始めてから途中で停止したいときは、OKボタンを押します。プリントを続行するには、[続行]を選択します。

■ プリントを中止するには

[中止]を選択して、OKボタンを押します。その場合、設定した予約などはすべて失われます。予約した内容を残して、続けて予約や設定をしたいときは、MENUボタンを押します。1つ前の設定に戻ります。

5 パソコンに接続する

ソフトウェアのインストール

■ Windows

1 パソコンのCD-ROMドライブに、付属のCD-ROMを入れます。

Windows XPの場合

- 「セットアップ」画面が表示されます。



Windows Vista / Windows 7 の場合

- 自動起動の画面が表示されますので、「OLYMPUS Setup」をクリックしてください。「セットアップ」画面が表示されます。

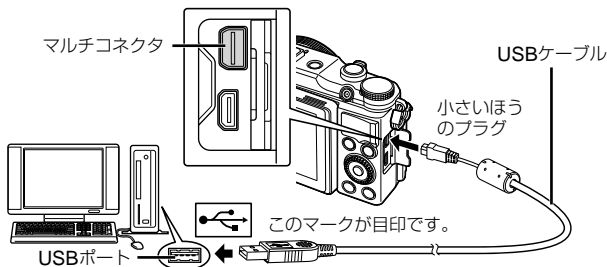
❗ 注意

- 「セットアップ」画面が表示されない場合は、スタートメニューから「マイコンピュータ」(Windows XP) / 「コンピュータ」(Windows Vista) / 「コンピューター」(Windows 7) をクリックし、次にCD-ROM (OLYMPUS Setup) のアイコンをダブルクリックして「OLYMPUS Setup」ウィンドウを開きます。最後に、「LAUNCHER.EXE」をダブルクリックしてください。
- 「ユーザー アカウント制御」画面が表示された場合は、「はい」または「続行」をクリックしてください。

2 カメラをパソコンに接続します。

❗ 注意

- カメラをパソコンに接続しても、カメラの画面に何も表示されない場合、電池残量が著しく不足している可能性があります。充電した電池を使用してください。



❗ 注意

- カメラと他の機器をUSB接続すると、その機器との接続方法を選ぶ設定画面が表示されます。【ストレージ】に設定してください。

3 ユーザー登録を行います。

- 「ユーザー登録」ボタンをクリックし、画面のメッセージにしたがって操作を行ってください。

4 OLYMPUS Viewer 2のインストールを行います。

- インストールを行う前に動作環境を確認してください。
- 「OLYMPUS Viewer 2」ボタンをクリックし、画面のメッセージにしたがってインストールを行ってください。

OLYMPUS Viewer 2	
OS	Windows XP (SP2 以上) / Windows Vista / Windows 7
CPU	Pentium 4 1.3GHz 以上 (ムービーを扱う場合: Pentium D 3.0GHz以上)
RAM	1GB 以上(2GB 以上推奨)
HDDの空き容量	1GB 以上
モニター	1024×768 ドット以上、65,536色以上(1,677万色以上推奨)

- ソフトウェアの詳しい使い方は、各ソフトウェアのヘルプをご参照ください。

■ Macintosh

1 パソコンのCD-ROMドライブに、付属のCD-ROMを入れます。

- CD-ROMをMacに挿入すると自動的にFinderでドライブ内が表示されます。自動的に開かなかった場合は、デスクトップのCD-ROMアイコンをダブルクリックしてください。
- 「Setup」アイコンをダブルクリックすると、「セットアップ」画面が表示されます。



2 OLYMPUS Viewer 2のインストールを行います。

- インストールを行う前に動作環境を確認してください。
- 「OLYMPUS Viewer 2」ボタンをクリックし、画面のメッセージにしたがってインストールを行ってください。



OLYMPUS Viewer 2	
OS	Mac OS X v10.4.11-v10.7
CPU	Intel Core Solo / Duo 1.5GHz以上
RAM	1GB 以上(2GB 以上推奨)
HDDの空き容量	1GB 以上
モニター	1024×768 ドット以上、32,000色以上(1,677万色以上推奨)

- 言語を変更したい場合は、言語コンボボックスからご使用の言語を選択してください。ソフトウェアの詳しい使い方は、ソフトウェアのヘルプをご参照ください。

OLYMPUS Viewer 2を使用せずにパソコンに 画像を取り込んで保存する

このカメラはUSBストレージクラスに対応しています。付属の専用USBケーブルでカメラとパソコンを接続して、画像を取り込んで保存することもできます。接続できるパソコンの環境は以下の通りです。

Windows : Windows XP Home Edition/
Windows XP Professional/
Windows Vista/Windows 7

Macintosh : Mac OS X v10.3以降

1 カメラの電源が切れていることを確認し、カメラとパソコンを接続します。

- USBポートの位置はパソコンによって異なります。パソコンの取扱説明書をご覧ください。

2 カメラの電源を入れます。

- モニターにUSBケーブルの接続先を選択する画面が表示されます。

3 △▽を押して[ストレージ]を選択します。

Ⓚ ボタンを押します。



4 カメラが新しい機器としてパソコンに認識されます。

⚠ 注意

- Windows Vista/Windows 7 をお使いの場合は、手順3で[MTP]を選択することでWindows フォト ギャラリーが使用できます。
- USB端子を装備していても、以下の環境では正常な動作は保証いたしません。
拡張カードなどでUSB端子を増設したパソコン/工場出荷時にOSがインストールされていないパソコン/自作パソコン
- パソコンに接続中は、カメラとしての機能は一切動作しません。
- パソコンとカメラを接続したときに、手順2の画面が表示されない場合は、カスタムメニューの[USB接続モード] (P. 63)を[オート]に設定してください。

6 使い方のヒント

思い通りに操作できない、画面にメッセージが表示されるがどうして良いかわからないときは、以下を参考にしてください。

故障かな？と思ったら

電池

「電池を入れてもカメラが動かない」

- 充電された電池を正しい向きで入れる。「電池とカードを入れる、取り出す」(p. 10)
- 寒さのため一時的に電池の性能が低下していることがあります。カメラから電池を一度取り出し、ポケットに入れるなどして少し温めます。


カード・内蔵メモリ

「メッセージが表示される」

- 「エラーメッセージ」(p. 83)

シャッターボタン

「撮影できない」

- スリープモードを解除する
カメラは電源オンの状態で、何も操作しないと設定した時間でスリープモードになり、モニターは自動的に消灯します。この状態でシャッターボタンを全押ししても撮影できません。ズームレバーやその他のボタンを操作して、カメラをスリープモードから復帰させてから撮影しましょう。
さらに5分放置すると、カメラは電源オフの状態になります。ON/OFF ボタンを押して電源を入れてください。
- 撮影モードにする。
-  (フラッシュ充電)アイコンの点滅が消えるのを待って撮影する。
- 長時間使用し、カメラの内部温度が上がると、自動的に動作を停止するときがあります。電池を取り出し、カメラが冷えるまで待ちます。また使用中にカメラの外側の温度も上がりますが、故障ではありません。

モニター

「見にくい」

- 結露が起きている可能性があるので、電源を切り、カメラ全体がまわりの温度になじんで乾燥するのを待ってから撮影する。

「撮影した画像に光が写っている」

- 夜間にフラッシュを発光させて撮影すると、空気中のほこりなどに光が反射して、画像に写り込むことがあります。

日時機能

「設定した日時が元に戻った」

- 電池を抜いた状態で約3日間¹放置すると、日時の設定は初期設定に戻ります。設定し直してください。










¹ 初期設定に戻るまでの時間は、電池を入れ換えてからの時間によって異なります。「電源を入れ、初期設定をする」(p. 12)

その他




「撮影時にカメラ内部から音がする」

- 撮影可能状態ではオートフォーカス動作を行っているため、カメラを操作しなくてもレンズを動かしている音がすることがあります。

エラーメッセージ

モニター表示	原因	対処方法
 このカードは使用できません	カードに問題があります。	もう一度カードを入れてください。それでもこの表示が消えないときはカードを初期化してください。初期化できない場合、このカードはご使用になれません。
 書き込み禁止になっています	カードが書き込み禁止になっています。	カードの書き込み禁止スイッチが「LOCK」側になっています。スイッチを戻して解除してください。(P. 89)
 撮影可能枚数が0です	内蔵メモリの撮影可能枚数が0のため、撮影できません。	カードを入れるか、不要な画像を消してください。
 内蔵メモリに残量がありません	内蔵メモリに十分な空き容量がありません。	大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。
 撮影可能枚数が0です	カードの撮影可能枚数が0のため、撮影できません。	カードを交換するか、不要な画像を消してください。
 カード残量がありません	カードに十分な空き容量がありません。	大切な画像は消す前にパソコンに取り込んでください。
	カードが読み込んでいません。またはカードが初期化されていません。	△▽で【カード初期化】を選び、Ⓜボタンを押します。続けて△▽で【実行】を選び、Ⓜボタンを押します。*
	内蔵メモリに異常があります。	△▽で【内蔵メモリ初期化】を選び、Ⓜボタンを押します。続けて△▽で【実行】を選び、Ⓜボタンを押します。*
 画像が記録されていません	カードに記録画像がないため画像が再生できません。	カードに画像が記録されていません。撮影してから再生してください。

* 初期化すると、データはすべて消去されます。

モニター表示	原因	対処方法
 この画像は再生できません	選択した画像に問題があり、再生できません。または、このカメラでは再生できない画像です。	パソコンの画像ソフトなどで再生してください。 それでも再生できない場合は、画像ファイルの一部が壊れています。
 この画像は編集できません	他のカメラで撮影した画像などを選択している場合は編集できません。	パソコンの画像ソフトなどで編集してください。
 しばらく使用できません カメラの内部温度が下がるまでお待ちください		カメラの電源を切り、内部温度が下がるまでしばらくお待ちください。
 しばらく使用できません カメラの内部温度が下がるまでお待ちください	連写などによりカメラの内部温度が上昇しています。	しばらくすると、自動的に電源が切れます。 カメラの内部温度が下がって撮影可能になるまでしばらくお待ちください。
 電池残量がありません	電池残量がありません。	充電してください。
 接続されていません	カメラがパソコンまたはプリンタに正しく接続されていません。	カメラとパソコンまたはプリンタを正しく接続しなおしてください。
 用紙がありません	用紙切れです。	用紙をプリンタに補充してください。
 インクがありません	インク切れです。	インクをプリンタに補充してください。
 紙づまりです	用紙が詰まっています。	詰まった用紙を取り除いてください。
プリンタの設定が変更されました	プリンタ側で用紙カセットを取り出すなどの操作をした。	プリントの設定中にはプリンタの操作はしないでください。
 プリンタエラーです	エラーが発生しました。	カメラとプリンタの電源を切り、プリンタの状態を確認してから電源を入れなおしてください。
 この画像はプリントできません	他のカメラで撮影した画像などでは、プリントできないものがあります。	パソコンなどを使ってプリントしてください。

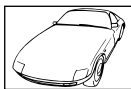
撮影のヒント

イメージした通りに写真を撮るための撮影方法がわからないときは、以下を参考にしてください。

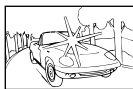
ピント

「狙ったものにピントを合わせたい」

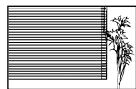
- タッチで撮影する
- 画面の中心以外にある被写体を撮る
被写体と同じ距離にあるものにピントを合わせた後、構図を決めて撮影します。
半押し(p. 14)
- 顔優先AF、瞳優先AFを使う(p. 49)
- 追尾AFを使う(p. 48)
動いている被写体に自動でピントを合わせ続けて撮れます。
- 暗いところにある被写体を撮る
AF補助光を使うとピントが合いやすくなります。「AFイルミネータ」(p. 64)
- オートフォーカスが苦手な被写体を撮る
以下のときは、被写体と同じ距離にあるコントラストのはっきりとしたものにピントを合わせた後(シャッターボタン半押し)、構図を決めて撮影します。



コントラストがはっきりしない被写体



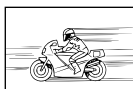
画面中央に極端に明るいものがある場合



縦線のない被写体^{*1}



遠いものと近いものが混在する場合



動きの速いもの





被写体がAFターゲット内になし

^{*1} カメラを縦位置に構えてピントを合わせてから、横位置に戻して撮影するのも効果的です。

手ぶれ

「ぶれない写真を撮りたい」

- 「手ぶれ補正」(p. 41)を使って撮る
ISO感度を上げなくても撮像素子が手ぶれを補正する動きをします。高倍率ズームで撮影するときにも有効です。
- SCNモードの「 スポーツ」(p. 25)で撮る
「 スポーツ」を選ぶと、速いシャッター速度で撮影できるので、被写体ぶれにも有効です。
- 高いISO感度で撮る
高いISO感度を選ぶと、フラッシュを使えない場所でも速いシャッター速度で撮影できます。「ISO感度」(p. 49)

露出(明るさ)

「イメージ通りの明るさで撮りたい」

- ピクチャーモードの階調をオートにする(p. 55)
- 顔優先AF、瞳優先AFを使う(p. 49)
- [スポット測光] (p. 47)で撮る
- 画面中央の被写体に明るさをあわせて撮影するので、背景の光に影響されません。
- [強制発光] (p. 29)フラッシュで撮る
逆光でも被写体が暗くならず撮れます。
- 白い砂浜・雪景色をきれいに撮る
SCNモードの[7]ビーチ&スノーで撮影します。(p. 25)
- 露出補正(p. 28)して撮る
画面を確認しながら明るさを調節して写します。通常、白い被写体(雪など)を撮影すると実際より暗く写ってしまいますが、プラスに補正すると見たままの白を表現することができます。黒い被写体を撮影するときは、逆にマイナスに補正すると効果的です。

色合い

「見た目と同じ色で撮りたい」

- 「ホワイトバランス」(p. 43)を選んで撮る
通常は[WBオート]でほとんどの環境をカバーしますが、被写体の条件によっては設定を変えて試してみるほうが良いことがあります。(晴天下の日陰や、自然光と照明光が混ざってあたる時、など)

画質

「きめ細かい写真を撮りたい」

- 低いISO感度で撮る
[ISO感度]を高くすると、ノイズ(本来そこにはないはずの色の小さな点や色むら)が発生し、画像が粗く見えます。「ISO感度」(p. 49)

再生・編集のヒント

再生

「内蔵メモリ/カード内の画像を再生したい」

- 内蔵メモリ内の画像を再生するときは、カードを抜く
「電池とカードを入れる、取り出す」(p. 10)

「ハイビジョンテレビで高画質で見たい」

- HDMIケーブル(別売)でカメラとテレビをつなぐ
「テレビで画像を再生する」f [テレビ出力] (p. 71)

編集

「静止画に録音済みの音声を消したい」

- 音声を削除したい画像を表示して、[録音]で[消去]を選択する
「音声録音」(p. 36)

アフターサービス

- 保証書はお買い上げの販売店からお渡しいたしますので「販売店名・お買い上げ日」等の記入されたものをお受け取りください。もし記入もれがあった場合は、直ちにお買い上げの販売店へお申し出ください。また保証内容をよくお読みの上、大切に保管してください。
- 本製品のアフターサービスに関するお問い合わせや、万一故障の場合はお買い上げの販売店、または当社サービスステーションにご相談ください。取扱説明書にしたがったお取り扱いにより、本製品が万一故障した場合は、お買い上げ日より満1ヶ年間「保証書」記載内容に基づいて無料修理いたします。
- 保証期間経過後の修理等については原則として有料となります。
- 当カメラの補修用性能部品は、製造打ち切り5年間を目安に当社で保有しております。したがって本期間中は原則として修理をお受けいたします。なお、期間後であっても修理可能な場合もありますので、お買い上げの販売店、または当社サービスステーションにお問い合わせください。
- 海外で故障・不具合が生じた場合は、オリンパス代理店リストに記載の**B**マークが付いた販売店・サービスステーションまでご依頼ください。
- 本製品の故障に起因する付随的損害（撮影に要した諸費用、および撮影により得られる利益の喪失等）については補償しかねます。また、運賃諸掛かりはお客様においてご負担願います。
- 修理品をご送付の場合は、修理箇所を指定した書面を同封して十分な梱包でお送りください。また控えが残るよう宅配便または書留小包のご利用をお願いします。

カメラのお手入れと保管

カメラのお手入れ

カメラの外側：

- 柔らかい布でやさしく拭いてください。汚れがひどい場合は、うすめた低刺激のせっけん水に布を浸して、固く絞ってから、汚れを拭き取ります。その後、乾いた布でよく拭きます。海辺でカメラを使用した場合は、真水に浸した布を固く絞って拭き取ります。

モニター：

- 柔らかい布でやさしく拭きます。

レンズ

- レンズブロー（市販）でほこりを吹き払って、レンズクリーニングペーパーでやさしく拭きます。

❗ 注意

- 絶対にベンジンやアルコールなどの強い溶剤や化学雑巾を使わないでください。
- レンズを汚れたままにしておくと、カビが生えることがあります。

電池／USB-ACアダプタ

- 乾いた柔らかい布で拭きます。

カメラの保管

- カメラを長期間使用しないときは、電池やUSB-ACアダプタ、カードを取り外してから風通しがよく涼しい乾燥した場所に保管してください。
- 保管期間中でも、ときどき電池を入れてカメラの動作を確かめてください。

❗ 注意

- 薬品を扱うような場所での保管は腐食などの原因になるため避けてください。

画像処理機能をチェックする — ピクセルマッピング

撮像素子と画像処理機能のチェックを同時に行います。最適な効果を得るため、撮影・再生直後より1分以上時間を空けた後に実行します。

1 ❁カスタムメニュー (P. 96)の📷タブで[ピクセルマッピング]を選択します。

2 ▷を押して、Ⓜ️ボタンを押します。

- ピクセルマッピング実行中の[処理中]バーが表示されます。終了するとメニューに戻ります。

❗ 注意

- 誤って処理中にカメラの電源を切ってしまった場合は、必ずもう一度このチェックを行ってください。

別売のUSB-ACアダプタを使う

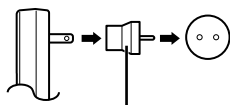
本製品は別売のUSB-ACアダプタF-3ACが使用できます。専用のUSB-ACアダプタ以外は使用しないでください。F-3ACを使用する際は、必ずカメラに付属のUSBケーブルを使用してください。また、USB-ACアダプタ付属の電源コードはUSB-ACアダプタ専用です。他の製品に使用しないでください。

別売の充電器を使う

付属の充電電池は充電器(UC-90：別売)を使って充電することもできます。

海外での使用について

- 充電器とUSB-ACアダプタは、世界中のほとんどの家庭用電源AC100～240V(50/60Hz)でご使用になれます。ただし、国や地域によっては、電源コンセントの形状が異なるため、変換プラグアダプタ(市販)が必要になる場合があります。詳しくは、電気店や旅行代理店でご確認ください。
- 市販の海外旅行用電子変圧器(トラベルコンバーター)は、充電器とUSB-ACアダプタが故障することがありますので使用しないでください。



変換プラグアダプタ
(市販品の一例)

カードを使う

このカメラで使用できるカード

SD/SDHC/SDXC/Eye-Fiカード(市販)(動作確認済みカードは当社ホームページをご確認ください。)



⚠ 注意

- このカメラはカードを入れなくても、内蔵メモリを使って撮影することができます。

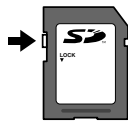
FlashAir、Eye-Fiカードについて

⚠ 注意

- 無線LAN内蔵SDカード“FlashAir”はフォーマットできません。FlashAirに付属のソフトウェアでフォーマットしてください。
- FlashAir、Eye-Fiカードは使用する国や地域の法律にしたがってお使いください。飛行機の中など使用を禁止される場所では、カードをカメラから取り出すか、カードの機能を停止してください。☞【Eye-Fi設定】(P. 96)
- FlashAir、Eye-Fiカードは使用時に熱くなることがあります。
- FlashAir、Eye-Fiカードを使用すると電池の消耗が早くなることがあります。
- FlashAir、Eye-Fiカードを使用するとカメラの動作が遅くなることがあります。

SD/SDHC/SDXCカードの書き込み禁止スイッチ

SD/SDHC/SDXCカード本体は書き込み禁止スイッチを備えています。スイッチを「LOCK」側にしておくと、カードへの書き込みやデータの削除、初期化ができなくなります。スイッチを戻すと書き込み可能になります。



7
資料

初期化

新しく購入したカード、他のカメラで使用したカード、パソコンなどで他の用途に使用したカードは、必ずこのカメラで初期化してからお使いください。

画像の保存先を確認する

内蔵メモリまたはカードのどちらを使用して撮影・再生しているか、モニターで確認できます。

使用メモリ表示

📁：内蔵メモリ使用 📄：カード使用

⚠ 注意

- [カードセットアップ] / [メモリセットアップ]や[1コマ消去]、[選択消去]、[全コマ消去]を行っても、カード内のデータは完全には消去されません。廃棄する際は、カードを破壊するなどして個人情報の流出を防いでください。

カードの読み出し/書き込み動作

撮影時のみ、データの書き込み中に使用メモリアイコンが点滅します。データの書き込み中は絶対に電池/カードカバーを開けたり、USBケーブルを抜いたりしないでください。撮影した画像が破壊されるだけでなく、内蔵メモリまたはカードが使用できなくなることがあります。

画質モード／ファイル容量／撮影可能枚数

表内のファイルサイズは、アスペクト比4:3のときのおおよその目安です。

画質モード	画像サイズ (ピクセルサイズ)	圧縮率	ファイル形式	ファイルサイズ (MB)	撮影可能枚数	
					内蔵メモリ	SDカード ^{*1}
RAW	3968×2976	ロスレス圧縮	ORF	約19.2	2	205
LSF		1/2.7		約9.2	4	427
L		1/4		約6.3	6	618
LN		1/8		約3.4	11	1,149
LB		1/12		約2.4	16	1,609
MSF	3200×2400	1/2.7	JPEG	約6.2	6	638
M		1/4		約4.3	9	914
MN		1/8		約2.4	17	1,630
MB		1/12		約1.8	23	2,235
MSF	2560×1920	1/2.7	JPEG	約4.1	9	957
M		1/4		約2.9	13	1,341
MN		1/8		約1.7	23	2,277
MB		1/12		約1.3	31	3,017
MSF	1920×1440	1/2.7	JPEG	約2.1	19	1,915
M		1/4		約1.4	29	2,806
MN		1/8		約0.7	57	5,485
MB		1/12		約0.5	83	8,046
MSF	1600×1200	1/2.7	JPEG	約1.4	28	2,742
M		1/4		約1.0	41	4,023
MN		1/8		約0.5	81	7,543
MB		1/12		約0.3	119	10,971
SSF	1280×960	1/2.7	JPEG	約0.9	44	4,161
S		1/4		約0.6	64	6,034
SN		1/8		約0.3	125	12,069
SB		1/12		約0.2	179	17,241
SSF	1024×768	1/2.7	JPEG	約0.6	67	6,352
S		1/4		約0.4	100	9,283
SN		1/8		約0.2	193	17,241
SB		1/12		約0.1	279	24,138
SSF	640×480	1/2.7	JPEG	約0.2	167	15,086
S		1/4		約0.2	228	20,115
SN		1/8		約0.1	419	40,230
SB		1/12		約0.1	503	40,230

*1 SDカード4GBの場合

ⓘ 注意

- 撮影可能枚数は撮影対象やプリント予約の有無などによっても変わります。撮影や画像の消去を行ってもモニターに表示される枚数が変わらないことがあります。
- 実際のファイルサイズは被写体によって変わります。
- モニターに表示される撮影枚数は9999までです。
- ムービーの録画可能時間については、当社ホームページをご確認ください。

専用フラッシュを使う

このカメラでは、別売の専用フラッシュを使用して目的に応じたいろいろなフラッシュ撮影が行えます。カメラとの通信機能があり、TTL-AUTOなど多彩な調光モードで、このカメラのフラッシュモードを使うことができます。当社専用フラッシュは、カメラのホットシューに取り付けて使用します。また、ブラケットケーブル(別売)を使用して専用のフラッシュブラケットに取り付けることもできます。専用フラッシュの取扱説明書も合わせてご覧ください。

フラッシュ使用時は、シャッター速度の上限が1/180秒となります。

専用フラッシュの機能比較

専用フラッシュ	調光モード	GN (ガイドナンバー) (ISO100時)
FL-14	TTL-AUTO, AUTO, MANUAL	GN14 (28mm*時)
FL-36R		GN36 (85mm*時) GN20 (24mm*時)
FL-50R		GN50 (85mm*時) GN28 (24mm*時)
FL-300R		GN20 (28mm*時)
FL-600R		GN36 (85mm*時) GN20 (24mm*時)

* カバーできるレンズ焦点距離(35 mmフィルムカメラ換算)

ワイヤレスRCフラッシュ撮影

RCモード機能付き専用フラッシュではワイヤレスフラッシュ撮影ができます。3つのグループのフラッシュを別々に発光制御できます。詳しくは専用フラッシュの取扱説明書をご覧ください。

1 ワイヤレスRCフラッシュをRCモードに設定して、配置します。

- フラッシュの電源を入れMODEボタンを押して、RCモードにします。
- フラッシュのチャンネルとグループを設定します。

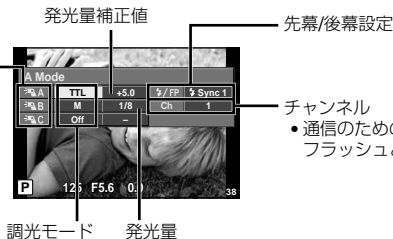
2 撮影メニュー 2 (P. 93)の[RCモード]を[On]にします。

- スーパーコンパネがRCモードに切り換わります。
- INFOボタンを繰り返し押すと、スーパーコンパネの表示を切り換えることができます。
- フラッシュモードを選択します。(RCモードでは赤目軽減発光はできません。)

3 スーパーコンパネでグループごとに調光モードなどの設定をします。

グループ

- それぞれのグループごとに調光モードを選択し、発光量補正します。MANUALでは発光量を選択します。



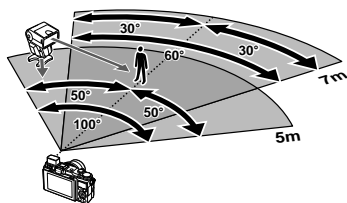
- チャンネル
• 通信のためのチャンネルをフラッシュと合わせます。

4 フラッシュスイッチをスライドして、内蔵フラッシュをポップアップします。

- カメラとフラッシュの充電完了を確認してから確認撮影します。

■ ワイヤレスフラッシュの制御可能範囲

ワイヤレスフラッシュのリモートセンサーをカメラ側に向けて設置します。次の図は設置範囲の目安です。範囲は周辺環境により異なります。



⚠ 注意

- ワイヤレスフラッシュの設置数は1グループ最大3台を推奨します。
- 4秒を超える後幕シンクロ撮影の場合は、ワイヤレスフラッシュ撮影できません。
- 被写体が近すぎる場合、通信用の発光が露出に影響を与えることがあります。(内蔵フラッシュをディフューザー等で減光すると症状が緩和されます。)
- RCモードで使用中は、フラッシュの同調秒時上限は1/180秒になります。

市販のフラッシュを使う

専用フラッシュ以外の市販のフラッシュをカメラのホットシューに接続して使用する場合は、次のことにご注意ください。

- カメラのホットシューのX端子に、約24V以上の電圧がかかる古いタイプの市販フラッシュを接続すると故障します。
- 弊社規格外の通信端子のあるフラッシュを接続すると故障する可能性があります。
- 撮影モードを**M**にして、ISO感度を**[AUTO]**以外でお使いください。
- フラッシュで調光する場合は、フラッシュにカメラのISO感度と絞り値を設定する必要があります。フラッシュによる明るさを調整するには、いずれかをシフトします。
- レンズにあった照射角のフラッシュをお使いください。通常、照射角は35mmフィルムカメラ換算の焦点距離で表します。

メニュー一覧

- *1: [カスタムモード登録]で登録可能な機能
 *2: [リセット] (フル)で初期設定に戻る機能
 *3: [リセット] (標準)で初期設定に戻る機能

📷 撮影メニュー

タブ	機能	初期設定	*1	*2	*3	🔍		
📷	カードセットアップ	全コマ消去				52		
	データコピー	中止				52		
	リセット/カスタムモード登録	—		✓		53		
	ピクチャーモード	👤 Natural	✓	✓	✓	42		
	画質モード	静止画	📺 N	✓	✓	✓	45	
		ムービー	Full HD					
	アスペクト比設定	4:3	✓	✓	✓	44		
📷	手ぶれ補正	📷	✓	✓	✓	41		
	ブラケット撮影	AE BKT	Off				56	
		WB BKT	A-B	Off				56
			G-M					
		FL BKT	Off	✓	✓	✓	57	
		ISO BKT	Off				57	
	ART BKT	Off				57		
	フラッシュ補正	±0.0	✓	✓	✓	46		
🔌RCモード	Off	✓	✓	✓	91			
先幕/後幕設定	先幕				57			
🔊	Off	✓	✓	✓	70			

▶ 再生メニュー

タブ	機能	初期設定	*1	*2	*3	🔍	
▶	スライドショー	スタート	—			37	
		BGM	Cosmic		✓		✓
		効果	標準		✓		✓
		スライド*	すべて		✓		✓
		1コマ再生時間	3秒		✓		
	ムービー再生	ショート		✓			
	回転再生	On		✓	✓	36	
編集	画像選択	RAW編集	—			59	
		JPEG編集	—			59	
		録音	—			60	
プリント予約	—				75		
全プロテクト解除	—				60		
スマートフォン接続			✓	✓		61	

ƒ セットアップメニュー

タブ	機能	初期設定	*1	*2	*3	🔍	
ƒ	日時設定	—				62	
	ワールドタイム	自宅・Tokyo					
	言語	日本語		✓			
	モニタ調整	±0, ±0, Natural			✓		✓
	撮影確認	2秒	✓	✓	✓		
	再生ボタン起動 バージョン	起動する —					

⚙️ カスタムメニュー

タブ	機能	初期設定	*1	*2	*3	🔍	
⚙️	AF/MF					63	
	AF方式	静止画	S-AF	✓	✓		✓
	AFターゲット選択			✓	✓		✓
	Home登録			✓	✓		✓
	AFイルミネータ	On		✓	✓		✓
	◎顔優先	顔優先Off		✓	✓		
	MFアシスト	Off		✓	✓		
	ボタン/ダイヤル/レバー						63
	ボタン機能	ボタン機能 ボタン機能	Off —	✓	✓	✓	
	ダイヤル機能	P	: Ps : 露出補正				
		A	: 絞り : 露出補正				
		S	: シャッター速度 : 露出補正				
		M	: シャッター速度 : 絞り		✓	✓	
		SCN	: シーンモード : 露出補正				
ART		: ARTフィルター : 露出補正					
Menu		: : /Value					
レバー機能	機能	MF	✓	✓	✓		
ダイヤル方向	露出設定			✓			
	MENU設定			✓			
	MF			✓			
	ズーム			✓			
◎ロック		Off	✓	✓	✓		
接続/音						65	
HDMI	HDMI出力	1080i優先		✓			
	HDMIコント ロール	Off		✓			
	ビデオ出力	—					
電子音	3		✓	✓	✓		
再生音量	3			✓			
USB接続モード	オート			✓	✓		

タブ	機能		初期設定	*1	*2	*3		
	表示							
	/Info表示 設定	INFO	<input checked="" type="checkbox"/> 表示OFF <input checked="" type="checkbox"/> 総合表示 <input type="checkbox"/> ヒストグラム表示 <input type="checkbox"/> ハイライト&シャドウ		✓	✓	✓	
		LV-Info	<input checked="" type="checkbox"/> ヒストグラム表示 <input type="checkbox"/> ハイライト&シャドウ <input type="checkbox"/> 水準器 <input checked="" type="checkbox"/> 表示OFF		✓	✓		
		表示	<input type="checkbox"/> <input type="checkbox"/> <input checked="" type="checkbox"/>		✓	✓		
	表示罫線選択		Off		✓	✓		
	Control 表示	iAUTO	ライブガイド			✓		
		P/A/S/M	LVコントロール			✓		
		ART	ARTメニュー			✓		
		SCN	SCNメニュー			✓		
	ピクチャーモード表示		On		✓	✓		
	ヒストグラム		ハイライト表示 255			✓		
	警告設定		シャドウ表示 0			✓		
	LVブースト		Off		✓	✓	✓	
	スリープ時間		1分		✓	✓	✓	
		露出/測光/ISO						
測光				✓	✓	✓	66	
+測光連動		Off		✓	✓	✓		
長秒時ノイズ低減		オート		✓	✓	✓		
高感度ノイズ低減		標準		✓	✓	✓		
ISO感度		オート		✓	✓	✓		
ISOオート設定		上限値：1600 基準値：100		✓	✓	✓		
Bulbリミッター		16分		✓	✓	✓		
フラッシュ								
	低速制限		1/60		✓	✓	✓	66
	+連動		Off		✓	✓	✓	
	画質/色/WB							
	WBモード		オート		✓	✓	✓	66
	全WBモード	All Set	A：±0, G：±0		✓	✓		
	補正	All Clear	中止			✓		
	WBオート 電球色残し		On		✓	✓	✓	
	+WB連動		Off		✓	✓	✓	
	カラー設定		sRGB		✓	✓	✓	
	画質設定		画質1： F 画質2： N 画質3： N 画質4： N		✓	✓	✓	
ピクセルサイズ	iddle	2560 × 1920		✓	✓	✓		
	mall	1280 × 960						

タブ	機能	初期設定	*1	*2	*3		
	記録						
	ファイルネーム	リセット		✓		67	
	ファイルネーム編集	Off		✓			
	dpi設定	350					
	著作権情報	著作権情報記録	Off		✓		
		撮影者入力	—				
		著作権者入力	—				
	動画						
	ムービー録音	On	✓	✓	✓	68	
	風切り音低減	Off	✓	✓	✓		
その他							
ピクセルマッピング	—				69		
露出基準調整	±0	✓	✓				
水準器調整							
水準器調整		リセット		✓			
タッチパネル設定	On	✓	✓				
Eye-Fi 設定	On						
m/ft設定 ⁴	m						
EVF調整	±0, ±0		✓	✓			

*4：MF時に表示

7

資料

仕様

カメラ

型式	
型式	コンパクトデジタルカメラ
撮像素子	
型式	1/1.7"型 CMOS
カメラ部有効画素数	約1200万画素
アスペクト比	4:3
モニター	
型式	3.0型TFTカラー液晶、タッチパネル
総画素数	約92万ドット(アスペクト比 3:2)
レンズ	
	オリンパスレンズ6 ~ 24mm、F1.8 ~ 2.5 (35mmフィルム換算28 ~ 112mm相当)
NDフィルター	
	3段相当
シャッター	
シャッター速度	1/2000 ~ 60秒、バルブ撮影(ISO100時 最長16分)
撮影範囲	
	0.05m ~ ∞ (W)、0.2m ~ ∞ (T) (通常) 0.01m ~ 0.6m (スーパーマクロ時)
オートフォーカス	
型式	イメージャコントラスト検出方式
測距点	最大35点
露出制御	
測光方式	TTL測光方式(イメージャ測光) ESP測光/中央重点平均測光/スポット測光/ターゲット枠連動測光
測光範囲	EV-3 ~ 17 (ESP測光/中央重点平均測光/スポット測光)
ISO感度	100 ~ 12800 (1/3ステップ)
露出補正	±3EV (1/3ステップ)
ホワイトバランス	
設定方式	オート/プリセット(7種) / カスタムWB / ワンタッチWB
記録	
記録媒体	内蔵メモリ、SD/SDHC/SDXCカード(UHS-I対応)、Eye-Fiカード
記録方式	デジタル記録、JPEG (DCF準拠)、RAWデータ
対応規格	Exif 2.2、DPOF、PRINT Image Matching III、PictBridge
静止画音声	Waveフォーマットに準拠
ムービー	MOV (MPEG-4 AVC/H.264)
音声	PCM 48kHz
再生	
表示形式	1コマ表示/拡大表示/インデックス表示
外部コネクタ	
	マルチコネクタ(USB端子/AV端子)/HDMIマイクロコネクタ(タイプD)/アクセサリポート
自動カレンダー機能	
	2000 ~ 2099年の範囲で自動修正

電源	
電池	専用リチウムイオン電池(当社製LI-90B) 1個、 または別売USB-ACアダプタ
大きさ・質量	
大きさ	113.0 mm (幅) × 65.4 mm (高さ) × 48.0 mm (奥行き) (突起部を除く)
質量	約346 g (電池/カードを含む)
動作環境	
温度	0℃～40℃ (動作時) / -20℃～60℃ (保存時)
湿度	30%～90% (動作時) / 10%～90% (保存時)

■ リチウムイオン電池

MODEL NO.	LI-90B
形式	充電式リチウムイオン電池
公称電圧	DC3.6 V
公称容量	1,270 mAh
充放電回数	約300回(使用する条件により異なります。)
使用環境	温度：0℃～40℃ (充電時)

■ USB-ACアダプタ

MODEL NO.	F-2AC-1B / F-2AC-2B
定格入力	AC100 V～240 V (50/60 Hz)
定格出力	DC5 V、500 mA
使用環境	温度：0℃～40℃ (動作時) / -20℃～60℃ (保存時)

外観・仕様は改善のため予告なく変更することがありますので、あらかじめご了承ください。




HDMI、HDMIロゴ、およびHigh-Definition Multimedia Interfaceは、HDMI Licensing, LLCの商標または登録商標です。

HDMI™
HIGH-DEFINITION MULTIMEDIA INTERFACE

安全にお使いいただくために

ご使用前に、この内容をよくお読みください。製品を安全にお使いください。

ここに示した注意事項は、製品を正しくお使いいただき、お客様や他の人々への危害と財産の損害を未然に防止するためのものです。内容をよく理解してから本文をお読みください。

 危険	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う差し迫った危険の発生が想定される内容を示しています。
 警告	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。
 注意	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容を示しています。

製品の取り扱いについてのご注意

⚠ 警告

- 可燃性ガス、爆発性ガス等が大気中に存在するおそれのある場所では使用しない
引火・爆発の原因となります。
- フラッシュやAFイルミネータを人(特に乳幼児)に向けて至近距離で発光させない
- カメラで日光や強い光を見ない
視力障害をきたすおそれがあります。
- 幼児、子供の手の届く場所に放置しない
以下のような事故が発生するおそれがあります。
 - 誤ってストラップを首に巻きつけ、窒息を起こす。
 - 電池などの小さな付属品を飲み込む。万一飲み込んだ場合は、直ちに医師にご相談ください。
 - 目の前でフラッシュが発光し、視力障害を起こす。
 - カメラの動作部でけがをする。
- ほこりや湿気、油煙、湯気が多い場所で長時間使用したり、保管しない
火災・感電の原因となります。
- フラッシュの発光部分を手で覆ったまま発光しない
- 連続発光後、発光部分に手を触れない
やけどのおそれがあります。
- 分解や改造をしない
感電・けがをするおそれがあります。
- 内部に水や異物を入れない
火災・感電の原因となります。

万一水に落したり、内部に水や異物が入ったときは、すぐに電源を切り電池を抜き、お買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。

- 本機の温度の高い部分に長時間触れない
低温やけどなどのおそれがあります。このような条件での使用が予想される場合は、あらかじめ三脚や手袋などを用意してください。
- 通電中のUSB-ACアダプタ、充電中の電池に長時間触れない
充電中のUSB-ACアダプタや電池は、温度が高くなります。長時間皮膚が触れていると、低温やけどのおそれがあります。
- 専用の当社製リチウムイオン電池、充電器、USB-ACアダプタ以外には使用しない
発熱、変形などにより、火災・感電の原因となります。またカメラ本体または電源が故障したり、思わぬ事故がおきる可能性があります。専用品以外の使用により生じた傷害は補償しかねますので、ご了承ください。
- SD/SDHC/SDXC/Eye-Fiカード以外は、絶対にカメラに入れない
その他のカードを誤って入れた場合は、無理に取り出さず、お買い上げの販売店、当社修理センター、または当社サービスステーションにご相談ください。

⚠ 注意

- 異臭、異常音、煙が出たりするなどの異常を感じたときは使用を中止する
火災・やけどの原因となることがあります。やけどに注意しながらすぐに電池を取り外し、お買い上げの販売店、当社修理センター、当社カスタマーサポートセンターまたは当社サービスステーションにご連絡ください。
(電池を取り外す際は、素手で電池を触らないでください。また可燃物のそばを避け、屋外で行ってください。)
- 濡れた手でカメラを操作しない
故障・感電の原因となることがあります。
- カメラをストラップで提げて持ち運んでいるときは、他のものに引っかからないように注意する
けがや事故の原因となることがあります。
- 高温になるところに放置しない
部品の劣化・火災の原因となることがあります。
- 本製品には精密な電子部品が組み込まれています。以下のような場所で長時間使用したり放置すると、動作不良や故障の原因となる可能性がありますので、避けてください。
 - 直射日光下や夏の海岸、窓を閉め切った自動車の中、冷暖房器、加湿器のそばなど、高温多湿、または温度・湿度変化の激しい場所
 - 砂、ほこり、ちりの多い場所
 - 火気のある場所
 - 水に濡れやすい場所

- 激しい振動のある場所
- カメラを落としたりぶつたりして、強い振動やショックを与えないでください。
- レンズを直射日光に向けたまま撮影または放置しないでください。撮像素子の退色・焼きつきを起こすことがあります。
- 寒い戸外から暖かい室内に入るなど急激に温度が変わったときは、カメラ内部で結露が発生する場合があります。ビニール袋などに入れてから室内に持ち込み、カメラを室内の温度になじませてからご使用ください。
- カメラを長期間使用しないと、カビがはえるなど故障の原因となることがあります。使用前には動作点検をされることをおすすめします。
- テレビ、電子レンジ、ゲーム機、スピーカー、大型モーター、電波塔や高圧線の近くでカメラを使用すると、磁気や電磁波、電波、高電圧の影響で、カメラが誤動作する場合があります。カメラが正常に動作しない場合は、電源を切つてから、再度電源を入れてください。
- カメラのそばにクレジットカードや磁気定期券、フロッピーディスクなどの磁気の影響を受けやすいものを近づけないでください。データが壊れて使用できなくなることがあります。
- 三脚を着脱する際は、カメラを回さず三脚のネジを回してください。
- カメラを持ち運ぶ際は、当社純正アクセサリ以外(三脚など)は取り外してください。
- 本体の電気接点部には手を触れないでください。
- レンズに無理な力を加えないでください。

電池についてのご注意

液漏れ、発熱、発火、破裂、誤飲などによるやけどやけがを避けるため、以下の注意事項を必ずお守りください。

⚠ 危険

- 火の中に投下したり、加熱しない
発火・破裂・火災の原因となります。
- 端子を金属類で接続しない
- 電池と金属製のネックレスやヘアピンと一緒に持ち運んだり、保管しない
ショート、発熱し、やけど・けがの原因となります。
- 直射日光のあたる場所、炎天下の車内、ストーブのそばなど高温になる場所で使用・放置しない
液漏れ、発熱、破裂などにより、火災・やけど・けがの原因となります。
- 直接ハンダ付けしたり、変形・改造・分解をしない
端子部安全弁の破壊や、内容物の飛散が生じ危険です。
火災・破裂・発火・液漏れ・発熱・破損の原因となります。

⚠ 警告

- 水や海水などにつけたり、端子部を濡らさない
- 濡れた手で触ったり持ったりしない
感電・故障の原因となります。
- 所定の充電時間を超えても充電が完了しない場合は、充電を中止する
火災・破裂・発火・発熱の原因となります。
- 外装にキズや破損のある電池は使用しない
破裂・発熱の原因となります。
- 電池に強い衝撃を与えたり、投げたりしない
破裂・液漏れの原因となります。
- カメラの電池室を変形させたり、異物を入れたりしない
- 液漏れ、変色、変形、その他異常が発生した場合は、使用を中止する
火災・感電の原因となります。
お買い上げの販売店、当社修理センター、当社カスタマーサポートセンター、または当社サービスステーションにご連絡ください。
- 電池の液が皮膚・衣類へ付着すると、皮膚に傷害を起こすおそれがあるので、直ちに水道水などのきれいな水で洗い流してください。

⚠ 注意

- 電池を使ってカメラを長時間連続使用したあとには、すぐに電池を取り出さない
やけどの原因となることがあります。
- 長期間使用しない場合は、カメラから電池を外しておく
液漏れ・発熱により、火災・けがの原因となることがあります。
- 電池は、当社製リチウムイオン電池(LI-90B)1個を使用します。それ以外の電池は使用できません。指定以外の電池を使用した場合、爆発(または破裂)の危険があります。
- カメラの消費電力は、使用条件などにより大きく異なります。
- 以下の条件では撮影をしなくても電力を多く消費するため、電池の消費が早くなります。
- ズーム動作を繰り返す。
- 撮影モードでシャッターボタンを半押しして、オートフォーカス動作を繰り返す。

- 長時間、モニターで画像を表示する。
- プリンタとの接続時。
- 消耗した電池をお使いのときは、電池残量警告が表示されずにカメラの電源が切れることがあります。
- 当社製リチウムイオン充電電池は、当社デジタルカメラ専用です。他の機器に使用しないでください。
- 電池の端子は、常にきれいにしておいてください。汗や油で汚れていると、接触不良を起こす原因となります。充電や使用する前に、乾いた布でよく拭いてください。
- 充電式電池をはじめめてご使用になる場合、また長時間使用していなかった場合は、ご使用の前に必ず充電してください。
- 一般に電池は低温になるにしたがって一時的に性能が低下することがあります。寒冷地で使用するとき、カメラを防寒具や衣服の内側に入れるなど保温しながら使用してください。低温のために性能の低下した電池は、常温に戻ると性能が回復します。
- 長期間の旅行などには、予備の電池を用意されることをおすすめします。海外では地域によって電池の入手が困難な場合があります。
- 長期間保存する場合は、涼しいところに保管してください。
- 使用済みの充電式電池は貴重な資源です。充電式電池を捨てる際には、端子をテープなどで絶縁してから最寄の充電式電池リサイクル協力店にお持ちください。詳しくは一般社団法人JBRCホームページ(<http://www.jbrc.com>)をご覧ください。



USB-AC アダプタについてのご注意

⚠ 危険

- **USB-ACアダプタを濡らしたり、濡れた状態または濡れた手で触ったり持ったりしない**
故障・感電の原因となります。
- **USB-ACアダプタを布などで覆った状態で使用しない**
熱がこもってケースが変形したり、火災・発火・発熱の原因となります。
- **USB-ACアダプタを分解・改造しない**
感電・けがの原因となります。
- **USB-ACアダプタは指定の電源電圧で使用する**
指定以外の電源電圧を使用すると、火災・破裂・発煙・発熱・感電・やけどの原因となります。USB-ACアダプタが、熱い、異臭や異常音がする、煙がでているなど異常を感じたら、ただちに電源プラグをコンセントから抜いて使用を中止し、当社修理センター、またはサービスステーションにご相談ください。

⚠ 警告

- **コンセントからの抜き差しは、必ずUSB-ACアダプタ本体を持つ**
USB-ACアダプタ本体を持たないと、火災・感電の原因となることがあります。

⚠ 注意

- **お手入れの際は、USB-ACアダプタ本体をコンセントから抜いて行う**
USB-ACアダプタ本体を抜かないで行くと、感電・けがの原因となることがあります。
- 付属のUSB-ACアダプタF-2ACはこのカメラ専用です。付属のUSB-ACアダプタを他のカメラに接続して電池を充電することはできません。
- 付属の**USB-ACアダプタF-2AC**はこのカメラ以外の機器に接続して使用しないでください。
- プラグインタイプの**USB-ACアダプタ**について：付属の**USB-ACアダプタF-2AC**は垂直、または床に水平に正しく取り付けてください。

モニターについて

- カメラを太陽などの強い光線に向けると、内部を破損するおそれがあります。
- モニターは強く押さないでください。画面上ににじみが残ったり、画像が正しく再生されなくなったり、モニターが割れたりするおそれがあります。万一破損した場合は中の液晶を口に入れないでください。液晶が手足や衣類に付着した場合は、直ちにせっけんで洗い流してください。
- モニターの画面上下に光が帯状に見えることがあります。故障ではありません。
- 被写体が斜めるとき、モニターにギザギザが見えることがあります。故障ではありません。記録される画像には影響ありません。
- 一般に低温になるにしたがってモニターは点灯に時間がかかったり、一時的に変色したりする場合があります。寒冷地で使用するとき、保温しながら使用してください。低温のために性能の低下したモニターは、常温に戻ると回復します。
- **本製品のモニターは、精密度の高い技術でつくられています。一部に常時点灯あるいは常時点灯しない画素が存在することがあります。これらの画素は、記録される画像に影響はありません。また、見る角度により、特性上、色や明るさにむらが生じることがありますが、モニターの構造によるもので故障ではありません。ご了承ください。**

その他のご注意

- 本書の内容については将来予告なしに変更することがあります。商品名、型番等、最新の情報については当社カスタマーサポートセンターまでお問い合わせください。
- 本書の内容については、万全を期して作成しておりますが、万一ご不審な点、誤り、記載もれなど、お気づきの点がございましたら当社カスタマーサポートセンターまでご連絡ください。
- 本書の内容の一部または全部を無断で複製することは、個人としてご利用になる場合を除き、禁止します。また、無断転載は固くお断りします。
- 本製品の不適当な使用による万一の損害、逸失利益、または第三者からのいかなる請求に関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。
- 本製品の故障、当社指定外の第三者による修理、その他の理由により生じた画像データの消失による、損害および逸失利益などに関し、当社では一切その責任を負いかねますのでご了承ください。

7

資料

電波障害自主規制について

この装置は、クラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。
取扱説明書に従って正しい取り扱いをして下さい。

VCCI-B

接続ケーブル、USB-ACアダプタ(USB-ACアダプタ対応機種のみ)は、必ず、当製品指定のものをお使いください。指定品以外では、VCCI協会の技術基準を超えることが考えられます。

商標について

Windowsは米国Microsoft Corporationの登録商標です。

MacintoshおよびAppleは米国アップル社の商標または登録商標です。

SDXCロゴは、SD-3C,LLCの商標です。

Eye-FiはEye-Fi,Incの登録商標です。

FlashAirは、株式会社東芝の商標です。

Powered by ARCSOFT.

その他本説明書に記載されているすべてのブランド名または商品名は、それらの所有者の商標または登録商標です。

THIS PRODUCT IS LICENSED UNDER THE AVC PATENT PORTFOLIO LICENSE FOR THE PERSONAL AND NONCOMMERCIAL USE OF A CONSUMER TO (i) ENCODE VIDEO IN COMPLIANCE WITH THE AVC STANDARD ("AVC VIDEO") AND/OR (ii) DECODE AVC VIDEO THAT WAS ENCODED BY A CONSUMER ENGAGED IN A PERSONAL AND NON-COMMERCIAL ACTIVITY AND/OR WAS OBTAINED FROM A VIDEO PROVIDER LICENSED TO PROVIDE AVC VIDEO. NO LICENSE IS GRANTED OR SHALL BE IMPLIED FOR ANY OTHER USE. ADDITIONAL INFORMATION MAY BE OBTAINED FROM MPEG LA, L.L.C. SEE [HTTP://WWW.MPEGLA.COM](http://www.mpegla.com)

このカメラの内部のソフトウェアは第三者作成のソフトウェアを含んでいます。

第三者作成のソフトウェアは、その所有者または著作権者により所定の条件が課せられており、その条件に基づいてあなたに配布されています。この条件の中であなたに告知するものがある場合には、カメラに同梱されたCD-ROMまたは以下のURLのウェブサイトに必要な応じて準備されたsoftware notice PDFファイル内に見出すことができます。

<http://www.olympus.co.jp/en/support/imgsdigicamera/download/notice/notice.cfm>

カメラファイルシステム規格について

カメラファイルシステム規格とは、電子情報技術産業協会(JEITA)で制定された規格「Design rule for Camera File system/DCF」です。

索引

英数・記号

A AF/MF	64
B ボタン/ダイヤル	64
C 接続/音	65
D 表示	65
E 露出/測光/ISO	66
F フラッシュ	66
G 画質/色/WB	66
H 記録/消去	67
I 動画	68
J その他	69
K Control表示	65
[...] Home登録	64
[Info] /Info表示設定	65、74
iAUTO (iオートモード)	13
+ WB連動	66
◎ 顔優先	49、64
☺ (言語切り換え)	62
[...]+ 測光連動	66
⚡ 低速制限	66
Fn1 ボタン機能	64、70
Fn2 ボタン機能	64、70
[Fn]+[Fn] 連動	66
🔒 ロック	64
AFイルミネータ	64
AFターゲット選択	31、64
AF方式	48、64
BKT	32
Bulbリミッター	66
C-AF+TR (追尾AF)	48
C-AF (コンティニュアスAF)	48
dpi設定	67
ESP測光	47
EVF調整	69
Eye-Fiカード	89
Eye-Fi 設定	69
FlashAir	89
HDMI	65
INFO	33
ISOオート設定	66

ISO感度	49、66
JPEG編集	59
LVブースト	65
m/ft設定	69
MFアシスト	64
MF (マニュアルフォーカス)	48
NDフィルター設定	70
OLYMPUS Viewer 2	80
RAW画像	45
RAW編集	59
S-AF (シングルAF)	48
USB-ACアダプタ	88
USB接続モード	65
WBオート 地球色残し	66
WBモード	43、66

あ行

アートエフェクト	24
アートフィルター	24
アスペクト比設定	44
インデックス再生	34
音声録音	36

か行

カードセットアップ	52
回転	36
回転再生	59
風切り音低減	68
画質設定	67
画質モード	45、55
カスタムプリント	77
カスタムメニュー	64
画像合成	60
画像のプロテクト	36
カラー設定	66
かんたんプリント	77
クローズアップ再生	34
高感度ノイズ低減	66
高速連写	32
コンバージョンレンズ	58、70

さ行

再生音量	65
再生ボタン起動	62
再生メニュー	59
先幕/後幕設定	57
撮影確認	62
撮影メニュー 1 / 撮影メニュー 2	52
サマータイム	12
シーンモード	25
水準器調整	69
水準器表示	74
スーパーコンパネ	73
スーパーマクロ	48
スポット測光ハイライトコントロール	47
スポット測光	47
スポット測光シャドウコントロール	47
スマートフォン接続	61
スライドショー	37
スリープ時間	65
セットアップメニュー	62
セルフタイマー 2s	32
セルフタイマー 12s	32
全WBモード補正	66
全プロテクト解除	60
測光	47、66

た行

ダイヤル機能	64
ダイヤル方向	64
ダイレクトプリント(PictBridge)	76
タッチパネル	38
タッチパネル設定	69
単写	32
中央重点平均測光	47
長秒時ノイズ低減	66
著作権情報	68
データコピー	52
デジタルテレコン	70
手ぶれ補正	41
電子音	65
トーンコントロール	28

な行

日時設定	62
------	----

は行

バージョン	62
ハイライト&シャドウ表示	74
パノラマ写真	26
ピクセルサイズ	67
ピクセルマッピング	69、88
ピクチャーモード	42、54
ピクチャーモード表示	65
ヒストグラム警告設定	65
ビデオ出力	65
表示野線選択	65
ファイルネーム	67
ファイルネーム編集	67
フォーカスロック	19
ブラケット撮影	56
フラッシュ撮影	29
フラッシュ補正	46
プリント予約(DPOF)	75
ボタン機能	64

ま行

ムービープレイ	35
ムービー録音	68
モニタ調整	62

ら行

ライブガイド	27
リセット/マイセット	53
連写	32
露出基準調整	69
露出補正	28

わ行

ワールドタイム	62
ワイヤレスRCフラッシュ撮影	57、91
ワンタッチホワイトバランス	44

OLYMPUS

オリンパス イメージング株式会社

〒163-0914 東京都新宿区西新宿2の3の1 新宿モノリス

● ホームページによる情報提供について

製品仕様、パソコンとの接続、OS対応の状況、Q&A等の各種情報を当社ホームページで提供しております。また、オンライン修理受付の詳細やインターネットでのお申し込み、修理に関するお問合せ先（修理センター、国内サービスステーションなど）、カスタマーサポートセンターの営業日・営業時間につきましても当社ホームページで最新情報をお知らせしております。
オリンパスホームページ <http://www.olympus.co.jp/> から「お客様サポート」のページをご参照ください。

● 製品に関するお問い合わせ先（カスタマーサポートセンター）



0120-084215 携帯電話・PHSからは **042-642-7499**

FAX 042-642-7486 調査等の都合上、回答までにお時間をいただく場合がありますので、ご了承ください。

便利でお得なサービスメニューをご用意しています

● オンライン修理受付のご案内

オンライン修理受付では、インターネットを利用して修理のお申し込みや修理の状況をご確認いただけます。また、下記にご案内しておりますピックアップサービス（引取修理）も、オンライン修理受付からお申し込みいただけます。

● ピックアップサービス（引取修理）のご案内

オリンパス指定の運送業者が、梱包資材を持ってお客様ご指定の日時にご自宅へお伺いし、故障した製品をお預かりします。お客様自身での梱包は不要です。その後弊社にて修理完成后、お客様のご自宅へ返送いたします。

電話でのお申し込みの場合：「オリンパス修理ピックアップ窓口」  **0120-971995**

営業時間：平日8:00～20:00 土・日・祝日9:00～18:00（指定休業日を除く）

※記載内容は変更されることがあります。